

文京区版
幼児教育・保育カリキュラム
～改定版～



子ども家庭部・教育推進部

『文京区版 幼児教育・保育カリキュラム』改定版の策定にあたって

平成28年2月、文京区では、子ども・子育て支援事業計画の一環として『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』を策定いたしました。

本カリキュラムは、「区立保育園、区立幼稚園でも、同じように質の高い幼児教育・保育をしてほしい」と望む多くの区民の皆様の期待に応えるために、3歳児から5歳児までの区立保育園、区立幼稚園での統一したカリキュラムに基づき、同様の教育・保育を提供していくことを目的としています。

また、本カリキュラムは、平成25年1月に教育委員会が策定した「アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム～保幼小中間の円滑な接続を目指して～」との接続を考慮し、策定しています。そのため、本カリキュラムを羅針盤として各園で全体的な計画を編成していくことにより、この時期に必要な遊びを通じた「生きる力」の基礎を育て、就学前から小学校への接続を円滑にしていくことができると考えています。

そして、平成29年3月に保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定（訂）・告示されました。今回の改定（訂）の趣旨として ①3歳以上の子どもについての幼児教育の共通化 ②幼児教育において育みたい資質・能力の明確化 ③小学校就学時の具体的な姿としての「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の明確化 ④乳児保育・1歳以上3歳未満児保育の記載の充実 などがあげられています。

文京区においても、私立園の増加と共に0歳から2歳までの保育所・認定こども園利用児童数は、年々、増加し続けています。そこで、『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』の改定版として、0歳児～2歳児まで（3歳未満児）も含めた文京区としての統一カリキュラムを策定いたしました。

各保育園・幼稚園・認定こども園におかれましては、本カリキュラムの趣旨や目的を十分に理解し、積極的に活用していただくことにより、文京区の未来を担う子どもたちが健やかに成長し、豊かに育っていくことを期待しています。

基本方針

文京区においては、幼児期の質の高い幼児教育・保育を実現するために、区立保育園、区立幼稚園統一の『幼児教育・保育カリキュラム』を策定することにした。内容としては、生きる力の基礎の育成を「軸」に据えた、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育・保育の充実を目的としている。

これまでも保育園は保育所保育指針に、幼稚園は幼稚園教育要領に基づいた幼児教育・保育を展開してきた。さらに平成20年3月の大幅な改定（訂）により、3歳児から5歳児の教育に関する内容の整合性が図られた。しかし、統一されたカリキュラムがないことで、保育園と幼稚園で行われている教育内容に違いがあるかのように伝わっていた現状を踏まえ、『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』を策定した。今回、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定（訂）・告示され、その内容の共通化が図られた。そこで、新たに『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』改定版をここに定めることとする。

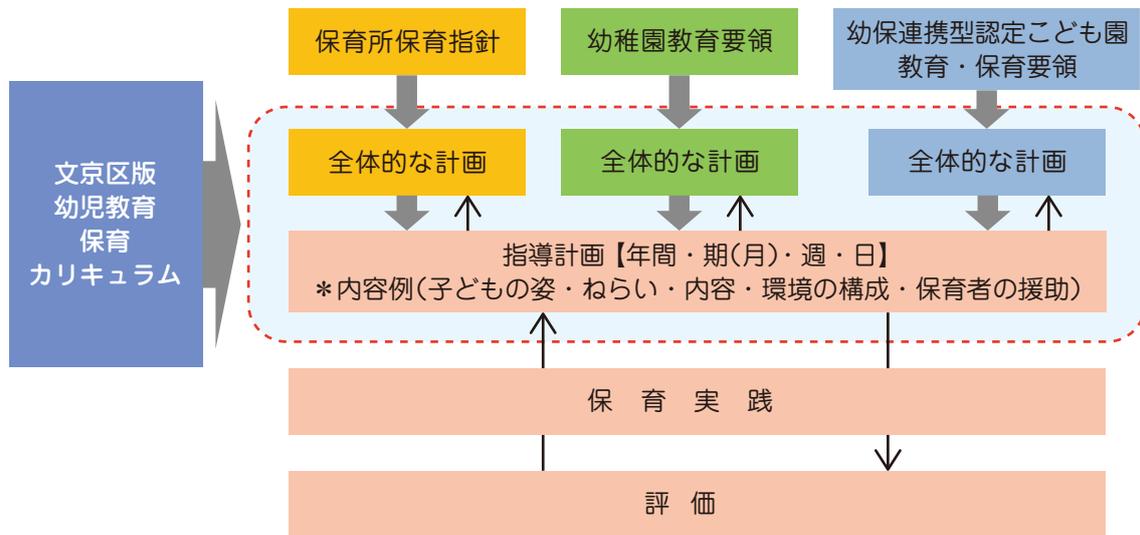
《乳幼児期の教育・保育の重要性について》

- 乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期である。
- 乳幼児期の子どもは生活や遊びにおける直接的・具体的な体験を通して、情緒的・知的な発達や社会性を獲得していく。

《生きる力の基礎を培う就学前教育の充実》

- 区立保育園、区立幼稚園、認定こども園において質の高い幼児教育・保育の提供
- 小学校教育との接続を踏まえた「生きる力の基礎の育成」

このカリキュラムを策定することにより、区立保育園、区立幼稚園、認定こども園で、質の高い幼児教育・保育を提供し、小学校教育との接続を踏まえた、生きる力の基礎の育成を目指す。また、各園において全体的な計画、指導計画を編成する際に活用することも可能である。



* 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示す幼児期の教育に関するねらい・内容は整合性が図られている

基本的な考え方

文京区は歴史と文化と緑に生まれ、文学・教育が息づく“文の京”として、歴史を今に未来につなげ、地域が一体となり子どもを育む支援を実施している。一人一人が自分らしく輝くことで“文の京”の魅力をさらに高め、すべての区民が“住んでよかった”“これからも住み続けたい”と実感するまちづくりを目指している。さらに、明治9年に日本で初めて開園し、倉橋惣三により保育が確立された東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）附属幼稚園や明治20年に開園した文京区立第一幼稚園、伝統ある大学や学校のある「文教の地」としても知られている。

近年、家庭や地域において、子どもが兄弟姉妹や近隣の子どもと関わる機会や、心と体を動かして夢中で遊びこむ機会が減少しているとの指摘がある。このことを踏まえると、保育園・幼稚園・認定こども園において、同年齢や異年齢の子ども同士が互いに関わり合い、生活することの意義は大きい。子どもは遊びを通して思考力や想像力を養い、遊びこむことによって達成感や満足感を味わい、疑問や葛藤を経験し、自発的に周りの環境に関わる意欲や態度が育っていくのである。

このカリキュラムは、東京都が平成25年に発行した就学前教育カリキュラムを基に、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、生きる力の基礎（生活する力・人との関わり・学びの芽生え）の育成に向け、その目標を適切かつ具体的に達成するための事項を経験させたい内容としてまとめた。各保育園・幼稚園・認定こども園の幼児教育・保育を通して主に大切にしたいこと、育てたい姿は下記のとおりである。



● 0 歳児

保育者とのより良い信頼関係を育んでいくことを基盤にし、あるがままの姿を受け入れながら一人一人の子どもへの理解を大切にしたい時期である。基本的な生活習慣（食事、睡眠、排泄など）は、生命の維持と心身の成長過程に欠かせないことであり、それらの生理的欲求（食べる、眠るなど）が満たされ、健康で心地よく過ごすことが大切である。体の発育や行動の発達、子どもの身近な環境との相互作用の結果であり、この時期はその出発点である。この時期の子どもは発達の可能性に満ちているが、大人の援助なしでは欲求を満たすことはできない。子どもが示す様々な欲求に応え、身近にいる保育者が適切かつ積極的に働きかけることにより、子どもと保育者との間に情緒的な絆が形成されるように努めることが大切である。

● 1 歳児

体のバランスがとれるようになり、歩行がしっかりしてくる時期である。行動範囲が広がり探索活動も活発になるので、それぞれの遊びが十分満足できるような環境を作っていくことが必要となる時期である。保育者や友達と簡単なやりとりや、つもり遊びを楽しむ姿も出てくるが、言葉が不十分なため、噛みつきや手が出ることもあるので、少人数での保育や玩具の量を豊富にし、遊びの空間が重ならないようにするなどの配慮が大切となる。自我が芽生え始め「自分で」と主張したり、だだをこねる姿も見られる。気持ちを認めながら子どもに選択肢を提示するなどして、気持ちの転換ができるような対応を心がけ、自我の育ちを援助していくことも大切となる。

● 2 歳児

手指や体の運動能力が向上し語彙数も増え、基本的な生活習慣を自分から進めていこうとする時期である。一方で、自立しようと頑張りつつも、一人でできないことの矛盾にぶつかり、様々な葛藤で感情が揺れ動く時期でもある。自分でしようとする意欲を受け止め、満足感や自信がもてるようにしていくことが大切である。また、好きな遊びを通して友達との関わりが楽しくなり、大人と一緒に簡単なごっこ遊びなど、なりきる遊びができるようになる。さらに自我の芽生えや言葉の発達に伴い、自己主張も強くなり友達との物の取り合いが多くなるため、一人一人の気持ちを受け止め、時には励まし、時には甘えを認めるようにしていく保育が大切である。

● 3 歳児

基本的な生活（食事、排泄、衣服の着脱など）がほぼ自分でできるようになる。生活のあらゆる場面で、機会をとらえて、個々の良さ、頑張りを言葉で認め、信頼関係を大事にしながら自己発揮できる場を設け、集団の中でその子どもなりの力を発揮できる環境を整える事が大切である。また、自分の思いを様々な形で出していけるようにしながら、相手の気持ちにも気付けるように保育者が友達関係の仲立ちをする事も大切である。

● 4 歳児

友達の存在が大きくなることから、一人一人の子どもの理解を深めると共に、友達との関わりや関係性を育むことが大切である。意欲をもって行動しようとする姿を見逃さず、その都度認め、共感し、自己主張する時と気持ちを抑える時のコントロールができるように援助しながら、その様子をクラスで共有し、励みや刺激となるようにしていく。また、異年齢との交流などを通し、遊ぶ楽しさやルールを知らせると共に子ども同士の関係をつなぎ、優しさ、思いやり、関わり大切さなどに気付ける働きかけをする事も大切である。

● 5 歳児

これまでの育ちを土台にしながら遊びの中での幼児の学びの芽生えを理解し、小学校教育への見通しをもってその芽生えを育むことが大切である。仲間としての連帯感が感じられるように、子ども同士の関係をつなぐことや、自分たちで考えたり、決めたり物事を進めたりする経験、共通の目的や課題に向かって取り組む姿勢、生活や遊びの中で問題を解決する力、他者との関係の中で自己調整する力などを育てていく。また、保育者は子ども一人一人のもっている力や感じ方、思いは様々であることを具体的に知らせながら、一人一人が自信をもって生活できるように子どもの気持ちを理解し、共感しながら励ましていくことが大切である。

注：平成 29 年 3 月に改定・告示された保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、幼児教育が最終的に向かっていくであろう方向として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10 の姿）を示している。

また、「幼児教育において育みたい資質・能力」（3つの柱）も示している。これらは、保育園や認定こども園では6年間、幼稚園では3年間の保育・幼児教育を通して重視すべき姿であり、このカリキュラムの中にも反映されている。



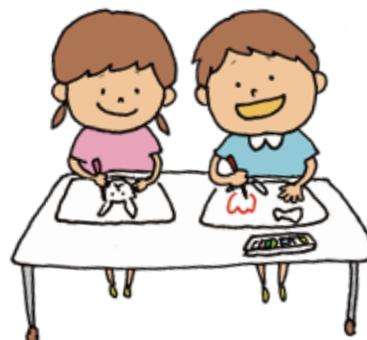
活用マニュアル

- 各年齢とも発達のためやすとして、「発達の特徴」を示した上で「育てたい姿」「配慮事項」「家庭との連携」の3項目から記述してある。乳幼児一人一人の発達の特徴と発育の個人差に留意し、丁寧な対応をすることを基本としつつ、各年齢で大事にしたい点を記述したので参考にしていきたい。
- 0歳児は各月齢で発達に応じて分け、1歳児から5歳児は、子どもの成長の節目が見られる時期で期を分けた。1歳児においては4期に分けてあるが、特に1期、2期に関しては個人差の大きい時期であるため、各月齢に応じた保育を重視してほしい。3歳児は保育園の進級児と、新たに入園した幼児では園生活における経験に違いがあるので、1期を進級児と新入児に分けている。
- 「午睡」など、保育時間の違いにより、保育園・幼稚園・認定こども園での取り組みが異なる保育内容もあるが、保育園・幼稚園・認定こども園の統一版のカリキュラムを策定したため、そのまま表記している。

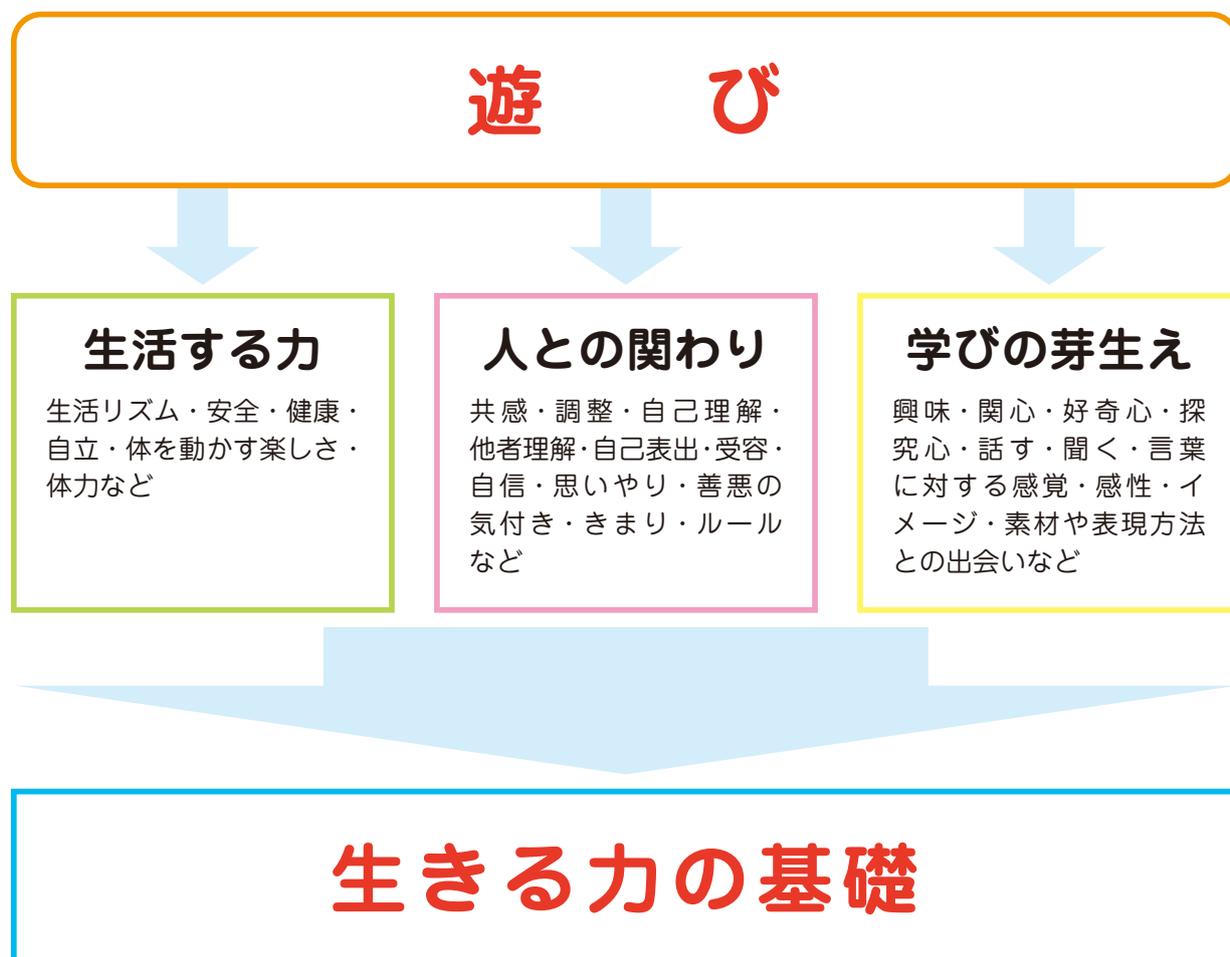
ねらいを基に、各園で遊びや活動を選び、環境や援助を工夫して、その時期のねらいが達成されるようにしていく必要がある。日々の保育を実践し、ねらいが達成されたかを振り返り、反省・評価して翌日の指導に生かしていくことが大切である。

「経験させたい内容」を実践していくにあたっては、乳幼児が自ら選んで行う遊びを大切に、乳幼児の発想や主体的な動きを生かしていく。また、クラス全体の乳幼児に長いスパンの中で経験させていく活動、全体で一斉に行う活動、グループで行う活動など、乳幼児の発達に応じて様々な活動を取り入れていくことが望ましいと考える。そして、遊びの中で楽しんだことが次の活動につながり、楽しかった行事を生かして遊びも広がるようにしていくなど、遊びと行事、活動が相互につながるようにしていくことが大切である。

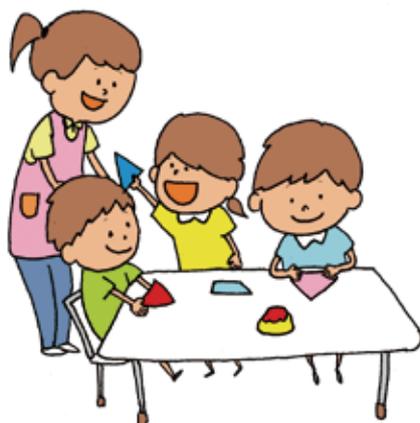
ねらい	5歳児 1期（4月～5月中旬）
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全な生活に必要な習慣や ・身近な人と親しみ、関わりを深め ・新しい環境に関わり、自分なりに
生きる力の基礎	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい場での生活の仕方や片 ・身の回りの物の始末や片付け ・うがい、手洗いなどの病気の ・保育者や友達と食べることを ・一定時間、体を休める。 ・危険な物や場所、遊び方が分 ・新しい遊具に関わりながら使 ・進んで戸外に出て友達と体を ・年下の子の気持ちを考えなが ・園内外での安全な遊び方や過 ・当番の仕方や係の仕事が分か ・災害時などの行動の仕方が分



○発達をめやすをもとに各時期のねらいを明確にし、経験させたい内容を「生活する力」「人との関わり」「学びの芽生え」の3つに分けた。ただし、乳幼児期の遊びや活動は総合的に行われることから、各要素を明確に区別することはできない。そのため「生活する力」「人との関わり」「学びの芽生え」に記載された内容をめやすにしながら、各園において、全体的な計画ならびに指導計画の作成、実践、評価を行い、幼児教育・保育の質の向上に努めていただきたい。



○本カリキュラムを実践するにあたっては、乳幼児の育ちをみんなで話し合い、共によりよい環境をつくり、協力し合って育てようとする職員のチームワークが大切である。
各保育園、幼稚園、認定こども園の実態に即して作成される全体的な計画・指導計画の立案・振り返りの羅針盤として、本カリキュラムを活用していただければ幸いである。



0歳児の発達をめやす

	4か月～6か月	6か月～9か月
発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○首がすわり、手足の動きが活発になる。 ○寝返り、腹ばいなど、全身の動きが活発になる。 ○哺乳量、哺乳時間が徐々に規則的になっていく。 ○視覚、聴覚などの感覚の発達はめざましく、表情の変化や体の動き、喃語などで自分の欲求を表現し、これに応答的に関わる特定の大人との間に情緒的な絆が形成される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○座る、はうなどの運動機能が発達する。 ○離乳が開始され、徐々に形ある食べ物を摂取するようになる。 ○特定の大人との応答的な関わりにより、情緒的な絆が深まり、あやしてもらおうと喜ぶなどやり取りが盛んになる一方で、人見知りをするようになる。
	4か月～6か月	6か月～9か月
育てたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○寝返り、腹ばいなど、徐々に体を動かすことを喜ぶ。 ○ミルク（母乳）を満足するまで飲み、機嫌良く過ごす。 ○おむつを取り換えてもらい気持ち良さを感じる。 ○一人一人の生活のリズムに応じて安心して寝入ったり、目覚めたりする。 ○自分から相手に微笑みかけたり、あやされることを喜び、声を出したり笑ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○寝返り、はう、お座りなど、十分に体を動かすことを喜ぶ。 ○様々な食品に少しずつ慣れ、食べようとする。 ○おむつを取り換えてもらい気持ち良さを感じる。 ○一人一人の生活リズムで、安全な環境の下で安心して眠る。 ○身近な人の顔が分かり、あやされると喜んだり、要求があると声をあげたりする。 ○要求があると声を出したり、喃語を盛んに話すようになる。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の生活リズムに合わせて授乳やおむつ交換をし、気持ち良く安心して過ごせるようにする。 ○気温による健康状態に応じて衣服の調節をこまめにし、体、衣服、身の回りにあるものを清潔にする。 ○離乳開始への準備を子どもの状態に合わせ、家庭と連携して無理なく進めていく。 ○できるだけ特定の保育者が一人一人の心の状態を見ながら応答的に関わるように努める。 ○玩具の清潔、安全を心掛け、常に点検する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べたい物への指差しなど子どもからの要求を受けとめ、食べようとする気持ちを育てるようにする。 ○おむつ交換や衣服の着脱を通じて、心地良さを感じるように清潔にしていく。 ○寝返り、お座り、はうなど、自ら体を動かそうとする意欲を育てていく。 ○人見知りや後追いをする時期なので、不安を表したときは温かく受け止めて、子どもが安心感をもてるようにする。 ○触った物を口に運ぶ時期のため、玩具を清潔にし、感染症の予防に配慮する。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者が子育ての中での分からないことを気軽に聞けるような雰囲気や関係をつくり、不安をなくしていく。 ○離乳食を始めるに当たり、家庭でもアレルギー反応などがなければ確認してもらい、連携を取り合う。 ○睡眠中、食事中などの場面では重大事故が発生しやすいことを伝え、育児環境の配慮や工夫を行ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の発育や発達及び健康状態についての適切な判断をし、病気の予防法や知識などの保健指導を行っていく。 ○離乳食の内容や状況について、伝え合い、家庭と一緒に連携を進めていく。

0歳児の発達のめやす

	9か月～12か月	12か月～18か月
発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○つかまり立ち、立つ、伝い歩きといった運動機能が発達することにより、周囲の人や物に興味を示し、探索活動が盛んになる。 ○身近な大人との関係の中で、自分の意志や欲求を身振りなどで伝えようとし、大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人立ちから歩き始めるようになる。 ○腕や指先を意図的に動かせるようになる。 ○探索活動が活発になり、行動範囲が広がる。 ○保育者や友達の行動に関心を示し、関わろうとする。 ○言葉と動作や物とが結びつき、簡単な指示が分かるようになる。
育てたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○はう、お座り、伝い歩きなど十分に体を動かすことを喜ぶ。 ○スプーンやフォークを持って援助してもらいながら、和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わう。 ○おもつを取り換えてもらい気持ち良さを感じる。 ○一人一人の生活リズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。 ○保育者に表情、発声、喃語などを優しく受けとめてもらい、やり取りを楽しむ中で発語をしようとする。 ○保育者に絵本を読んでもらうことを喜んだり、好きな玩具や遊具に自分から関わり、十分に遊ぶ。 ○音楽や簡単なリズム遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な場所を歩くことを喜ぶ。 ○食べさせてもらったり、手づかみやスプーン、フォークを持って食べようとしたりする。 ○おもつや衣服が汚れたら、嫌がらずに取り替えてもらう。 ○一人一人の生活リズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。 ○保育者に親しみ、関わろうとする。 ○友達に関心をもち、関わろうとする。 ○自分の名前が呼ばれたことが分かる。 ○好きな絵本や紙芝居を読んでもらうことを喜ぶ。 ○歌や手遊びを楽しむ。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わい、食べようとする気持ちを育てていく。 ○一人一人の生活リズムや体調をみながら、睡眠のリズムを整えていく。 ○手、指、足を使って探索活動が十分にできるようにする。 ○つかまり立ちや伝い歩きをするようになるため、転倒などに気を付け、危険の無いように注意する。 ○子どもの多様な感情を受け止め、温かく受容的、応答的に関わり、一人一人に応じた適切な援助を行う。 ○温かく穏やかな雰囲気の中での保育者との関わり合いを大切に、積極的に言葉のやり取りを楽しむことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○咀嚼の状態や食べ方をみて、離乳を完了させる。 ○いろいろな感触が経験できるような遊びや玩具を用意し、楽しめるようにしていく。 ○行動範囲が広がり、好奇心が旺盛になるため危険な物や場所の点検をして探索活動が十分できるようにする。 ○保育者がゆったりと関わったり、気持ちを代弁したり仲立ちになったりしながら友達と一緒にいることの喜びへとつなげていく。 ○人や物への関わりが生まれ、玩具の取り合いが出てくる時期のため、十分な数をそろえるようにする。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者からの相談に応じ、信頼関係を築きながら保護者の支援に努めていく。 ○遊びや生活の中で見られる、自発的な行動（意志や欲求）の姿を、家庭と共有し合い、成長の喜びを分かち合う。 ○行動範囲が広がってくるため、誤飲など家庭内での事故予防を知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の発達の個人差が見られるようになり、保護者が不安を抱きやすくなるため、育ちの過程を喜び合えるように今後の見通しを伝えていく。 ○子どもの様子から、動きやすい服や靴の用意の協力をお願いする。 ○探索活動が活発になり、行動範囲が広がるため、危険がないように家庭の環境を見直してもらう。

0歳児（4か月～6か月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○「飲むー寝るー遊ぶ」の安定した生活リズムで機嫌よく過ごす。 ○保健的で安全な環境の中で特定の保育者とふれあい心地良く過ごす。 ○あやされたり、言葉をかけられると喜び、自分でも声を出す。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ミルク（母乳）は抱かれて言葉をかけてもらいながら満足するまで飲む。 ○スープなどの準備食を開始し、様々な味に慣れる。 ○おむつがぬれていたり汚れたりしている時はこまめに取りかえてもらい、気持ち良さを感じる。 ○安心して寝入ったり目覚めたりする。 ○手や顔を拭いてもらい、心地良さを感じる。 ○目の前の物をつかもうとしたり、寝返りをしようとする。 ○腹ばいになって上半身を支えようとする。 ○短時間の外気浴や散歩を楽しむ。
	<ul style="list-style-type: none"> ○あやされることを喜び、声を出したり笑ったりする。 ○声や泣き声で自分の欲求を表し、受け入れてもらうことで安心する。 ○周囲の親しい大人が分かるようになり、泣いても保育者があやすと安心して笑顔になる。 ○保育者とのふれあい遊びを通して、手足を動かすことを喜ぶ。
生きる力の基礎	人との関わり
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○玩具を見せると自分から手を出し、握って遊ぶ。 ○握り玩具を持ち替えたり、振ったりなめたりして遊ぶ。 ○動く玩具や振ると音の出る玩具に興味を示して遊ぶ。 ○保育者のあやし遊びに機嫌よく応じたり、「アーアー」「ウーウー」などの喃語で話す。

		0歳児（6か月～9か月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○腹ばいや寝返り、お座りなど、体全体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○保育者と十分に関わり、欲求を受けとめてもらい親しみを持ち安定して過ごす。 ○保育者の語りかけを喜び、自分でも声を出すことを楽しむ。 		
	生活する力	経験させたい内容	
		<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食を食べ始め、いろいろな食品の味や形態に慣れ、舌を使ってつぶして食べたり飲みこんだりする。 ○大人が手を添えるとコップを持って飲む。 ○おもつがぬれていたり汚れたりしている時はこまめに取りかえてもらい、気持ち良さを感ずる。 ○一人一人の生活リズムで安心して眠る。 ○手や顔を拭いてもらい、きれいになった気持ち良さを感ずる。 ○欲しい遊具をめぐらして手を伸ばしたり、寝返り、はう、お座りなどをし、活発に動くことを喜ぶ。 ○指先で物をつまんだり、手を打ち合わせたりする。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○人の真似が上手になり、保育者の真似をして遊ぶ。 ○あやされたり、名前を呼ばれると喜ぶ。 ○知っている人を見ると安心し、抱いてもらいたがる。 ○要求があると声を上げる。 ○人見知りをしたり後追いをしたりする。 ○親しみのある大人とふれあい遊びを何回も繰り返すことを喜ぶ。 	
生きる力の基礎	人との関わり		
	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○興味ある玩具をつかみ、見つめたりしゃぶったり振ったりして少しの間一人遊びをする。 ○周囲の物を触ったり、口にもっていったりする。 ○物を落とす、引き出しの中のを引っ張り出すなど、気に入ったことを繰り返して遊ぶ。 ○戸外に出ることを喜び、様々な物に興味を示す。 ○機嫌の良いときには盛んに喃語で話そうとする。 ○自分の名前を呼ばれると分かり、振り向いたりする。 ○曲に合わせて体を動かすことを楽しむ。 	

		0歳児（9か月～12か月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○はう、はうから座るなど、体全体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○保育者と十分に関わって、欲求を受け止めてもらい、親しみをもちながら安定して過ごす。 ○身近な人や物に対する興味や関心をもち、探索活動を楽しむ。 		
	経験させたい内容		
	生活する力	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者に食べさせてもらったり、手づかみで食べようとする。 ○コップを両手で持って飲む。 ○おむつがぬれていたり汚れたりしている時はこまめに取りかえてもらい、気持ち良さを感じる。 ○一定時間安心して眠る。 ○援助されながら手を洗ったり顔を拭いたりして、きれいになった気持ち良さを感じる。 ○高ばいで階段の上り下りをする。 ○整えられた環境で、十分につかまり立ちや伝い歩きをする。 ○手押し車や箱などを押しながら歩く。 	
		生きる力の基礎	人との関わり
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○紙を破いたり、物を落としたり、箱や引き出しを開けたりなど、両手を使って探索を楽しむ。 ○「ワンワン」「ブーブー」など、一語文を発しようとする。 ○要求したり援助を求めたりするときに、周りの関心を引こうとして声を発する。 ○大人の真似をしていろいろな音声や音節を繰り返したり、動作を真似ようとする。 ○戸外や散歩に行くことを喜び、物事や動物に興味を示す。 ○容器に物を入れる、のせる、合わせるなどをする。 ○物を布などで隠すと中身を確認しようとする。 ○高さ、深さ、奥行き、裏側などを探ろうとする。 ○クレヨンを持って打ち付けたり、なぐり描きをしたりする。 ○音の出る玩具を好み、太鼓をたたいたり、ラッパを吹いたりして遊ぶ。 		

0歳児（12か月～18か月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○一人立ちができ、歩行がほぼ完成し、体を十分に動かして遊ぶ。 ○保育者や友達と一緒にいることを楽しむ。 ○様々な物に興味をもち、探索活動を活発に行う。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者に食べさせてもらったり、手づかみやスプーン、フォークを持って食べようとする。 ○徐々に離乳が完了し、幼児食に移行する。 ○おもつがぬれていたり汚れたりしている時はこまめに取りかえてもらい、気持ち良さを感ずる。 ○自分の気持ちを受けとめてもらい、保育者のそばで安心して眠ろうとする。 ○衣服の着脱の時、自ら袖に手を入れようとしたり、足を出したりする。 ○援助されながら手を洗ったり顔を拭いたりして、きれいになった気持ち良さを感ずる。 ○ほぼ歩行が完成し、はいはいやつかまり立ち、伝い歩き、歩行など全身を使って遊ぶ。
	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者と物のやり取りをすることを喜ぶ。 ○保育者の仲立ちで、友達と触れ合って遊んだりする。 ○友達の行動に関心を示し、関わろうとする。 ○いろいろな経験を重ねる中で、自分の気持ちを表情や態度で表現しようとする。
生きる力の基礎	人との関わり
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○物の名前が分かるようになる。 ○発語が盛んになり、語彙も増える中、言葉で自分の思いを保育者に伝えようとする。 ○知っている物を指差ししたり、名前を呼ばれて返事をする。 ○戸外に出ると様々な物に興味をもち、歩き回ることを喜ぶ。 ○虫や小動物を見つけると手を伸ばして触れようとし、興味を示す。 ○貼っている紙やシール、テープをはがして遊ぶことを楽しむ。 ○簡単な型はめやパズルボックスなどを楽しむ。 ○保育者に絵本を読んでもらうことを喜ぶ。 ○保育者と一緒に歌や手遊び、まねっこ遊びを楽しむ。

1 歳児の発達のみやす

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○一人立ちから歩き始めるようになり、それと共に行動範囲が広がる。 ○歩き始め、手を使い、言葉を話すようになることにより、身近な人や身の回りの物に自発的に働きかけていくようになる。 ○歩く、押す、つまむ、めくるなど様々な運動機能の発達や新しい行動の獲得により、環境に働きかける意欲を一層高める。 	
	1 期	2 期
育てたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい生活の場に慣れ、安心して過ごす。 ○自由に歩くことを楽しむ。 ○探索活動を十分にさせる。 ○園の食事や幼児食に慣れ、機嫌良く食事をする。 ○おむつや衣服が汚れたら、嫌がらずに取り替えてもらう。 ○一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。 ○保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ○簡単な挨拶をしぐさや言葉で行う。 ○好きな絵本や紙芝居を読んでもらうことを喜ぶ。 ○歌や手遊びの楽しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな場所（坂道、段差など）を歩くことを楽しみ、探索活動を十分にさせる。 ○援助されながらスプーンやフォークを持って、食べようとする。 ○おむつや衣服が汚れたら、嫌がらずに取り替えてもらう。 ○一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。 ○援助されながら、自分でズボンや靴などを着脱しようとする。 ○保育者や友達と一緒に、夏の遊びや感触遊びを経験する。 ○保育者や友達と簡単な言葉や動作のやり取りをしようとする。 ○好きな絵本や紙芝居を読んでもらうことを喜ぶ。 ○歌や手遊び、簡単なリズム遊びの楽しさを感じる。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の姿を把握したうえで新しい環境の中で、安心して過ごせるように丁寧に対応していく。 ○できるだけ少人数で過ごし、担当の保育者との関係を深め、安心して遊べるようにする。 ○新入児は環境が大きく変わるため、一人一人が無理なく慣れるように、保育を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が安心して過ごし、思いを表せるように保育者間の連携を丁寧に行う。 ○気温・湿度に気を付け、一人一人の健康状態を十分に把握する。また、皮膚の疾患や夏の感染症に留意していく。 ○夏の時期は水分補給や衣服の調節をして、気持ち良く過ごせるようにする。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境に不安に思う保護者もいるため、送迎時など言葉をかけ、コミュニケーションを図っていく。 ○連絡帳などを通して、家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝え、子どもや保護者との信頼関係を深めていく。 ○天候や気温により、体調の変化をおこしやすいため、家庭や園での様子を丁寧に伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○着脱、排泄など基本的な生活習慣に興味を示し始める時期のため、着脱しやすい服装や履きやすい靴などを準備してもらう。 ○夏の感染症について、お便りや掲示などで知らせ、家庭と密に連絡を取り合い感染予防に努めていく。 ○汗をかいたり夏の遊びなど、着替えをする機会が多くなるため、衣類を多く用意してもらう。

1 歳児の発達をめやす

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○玩具などを実物に見立てるなどの象徴機能が発達し、人や物との関わりが強まる。その中で物をやり取りしたり、取り合ったりする姿が見られるようになる。 ○大人の言うことが分かるようになり、自分の意思を親しい大人に伝えたいという欲求が高まる。 ○指差し、身振り、片言などを盛んに使うようになり、二語文を話し始める。 	
	3期	4期
育てたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と一緒に戸外や室内で全身を使って遊んだり、探索活動を楽しむ。 ○援助されながらスプーンやフォークを持って、様々な食品を食べてみようとする。 ○おむつや衣服が汚れたら、嫌がらずに取り替えてもらったり、排泄したことをしぐさで伝えようとする。 ○一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。 ○援助されながら自分でズボンや靴などを着脱しようとする。 ○パズルやひも通しなど指先を使った遊びを楽しむ。 ○保育者と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ○好きな絵本や紙芝居を読んでもらうことを喜ぶ。 ○歌や手遊び、簡単なリズム遊びの楽しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全身を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○いろいろな食べ物に興味をもち、自分でスプーンやフォークを持って食べようとする。 ○誘われてトイレに行こうとしたり、排尿したことをしぐさで伝えようとする。 ○一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。 ○援助されながら自分でズボンや靴などを着脱しようとする。 ○友達に関心をもち、一緒に過ごすことを喜ぶ。 ○保育者、友達とのやり取りやつもり遊びを楽しむ。 ○興味をもったことを、何でも自分でやってみようとする。 ○好きな絵本や紙芝居を読んでもらうことを喜ぶ。 ○歌や手遊び、簡単なリズム遊びの楽しさを感じる。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でやりたいという気持ちを受け止めながら、一人一人にあった援助をしていく。 ○子どもの思いや要求など伝えようとしている気持ちをくみ取り、言葉に置き換えていく。 ○全身運動が活発になるため活動の状態に配慮し、じっくりと遊べるように安全な環境を整えていく。 ○「自分で」という気持ちを大切に、見守ったり、励ましたりしながら、できたときはその喜びに共感していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分で」という気持ちを大切に、できた時はおおいにほめ、満足感を感じられるようにして次につなげていく。 ○子どもの伝えたい気持ちを感じ取って言葉にしたり、状況を見て言葉をかけたりしながらやり取りをし、会話の楽しさを伝えていく。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単な身の回りのことを自分でしたがるようになるため、発達の特徴や保育者の接し方を伝え、家庭でも時間や気持ちに余裕をもって接してもらうようにする。 ○友達への関心が芽生え、関わって遊ぶようになってくるため、物の取り合いやいざこざなど、時にはぶつかり合うことも成長の表れであることを知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもができるようになったことや、成長した姿を保護者と一緒に喜び合い、進級への期待につなげていく。 ○感染症が流行する時期のため、手洗いをしっかりと行い、健康状態を把握できるよう連絡を取り合う。

1歳児 1期 (4月～5月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境に慣れ、安心して食べたり、眠ったりする。 ○保育者と一緒に好きな遊びを見つける。 ○春の自然に触れながら、探索活動を十分に楽しむ。
生活する力の基礎	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○園生活のリズムに慣れ、安心して過ごす。 ○ゆったりとした雰囲気の中で、食事や間食を楽しむ。 ○保育者に食べさせてもらったり、手づかみやスプーン、フォークを持って食べようとする。 ○おもつが汚れたら取り替えてもらい、きれいになった心地良さを感じる。 ○自分の気持ちを受けとめてもらい、保育者のそばで安心して眠ろうとする。 ○着替えるときに手や足を動かし、簡単な衣服を脱ごうとする。 ○援助されながら手洗いをする。 ○はう、つかまり立ち、伝い歩き、歩行など全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ○ゆるやかな斜面や段差を上る、下りるなどの足腰を使った運動を取り入れた遊びを楽しむ。 ○たたく、つまむ、転がすなどの指先を使った遊びを楽しむ。 ○リズムに合わせて体を揺すったり、手足を動かしたりする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい生活の場に慣れ、保育者に親しみ、安心して自分の気持ちを表そうとする。 ○保育者や同じ部屋で生活している友達に親しみ、関心を示す。 ○保育者に甘えたり、やりたいことを言ったりするなど、安心して思いを出す。 ○「バイバイ」「ありがとう」などの挨拶をしぐさや言葉で行う。 ○保育者の真似をして、一緒に片付けをしようとする。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○園内や園舎の散策を保育者と一緒に楽しむ中で、春の自然に触れる。 ○保育者と一緒に歌を歌ったり、簡単な手遊びをしたりして楽しさを感じる。 ○身近な環境の中で探索活動を十分に楽しむ。 ○一人遊びを十分に楽しむ。 ○自分の名前や友達の名前が分かるようになり、関わろうとする。 ○片言で保育者に伝えようとする。 ○要求をしぐさや簡単な言葉で表現しようとする。 ○保育者や友達と一緒に絵本を見たり、絵を見ながら保育者の言葉の真似をしたりする。 ○保育者と一緒に歌を歌ったり、簡単な手遊びをしたりして楽しさを感じる。

		2期（6月～9月）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単な身の回りのことに興味を示す。 ○部屋や保育者に慣れ、一人遊びを十分に楽しむ。 ○保育者と一緒に夏の遊びを楽しむ。 	
	生活する力	経験させたい内容
		<ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやフォークを持って、援助されながら自分で食べようとする。 ○おむつが汚れたら取り替えてもらったり、便器に座ってみようとする。 ○自分の気持ちを受けとめてもらい、保育者のそばで安心して眠ろうとする。 ○ズボンや靴を脱ごうとしたり、帽子をかぶろうとする。 ○援助されながら手洗いをし、自分のタオルで拭こうとする。 ○保育者を追いかけたり、逃げたりして走ることを喜ぶ。 ○斜面、階段の上り下り、くぐるなど足腰を使った遊びを楽しむ。 ○ちぎる、破く、なぐり描きなどの手や指先を使った遊びをする。
生きる力の基礎	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者やクラスの友達と一緒に遊ぶことを喜ぶ。 ○お気に入りの物やお気に入りの場所がある。 ○「自分で」という気持ちが芽生え、やってみようとする。 ○「自分の」という気持ちをもち、伝えようとする。 ○してほしいことを言葉や動作で伝えようとする。 ○「おはよう」などの簡単な挨拶をする。 ○簡単な指示が分かり行動しようとする。
	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○室内や戸外で探索活動を十分に楽しむ。 ○探索活動を通して触れたり試したり驚いたりするなど、いろいろな体験をする。 ○砂や水など身近な自然に触れながら夏の遊びを楽しむ。 ○保育者との言葉のやり取りを楽しむ。 ○したいこと、してほしいことを、表情や指さし、動作、一語文などで伝えようとする。 ○簡単な繰り返しのある絵本や紙芝居を楽しむ。 ○クレヨンや指でなぐり描きを楽しむ。 ○歌や音楽に合わせて手遊びやリズム遊び、体操をする。

3期（10月～12月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○全身を使った運動遊びを楽しんだり、じっくりと手や指先を使った遊びをする。 ○保育者や友達に要求を言葉で伝えたり、言葉を使うことを楽しんだりする。 ○戸外遊びや散歩を通し、身近な自然に触れ、興味をもつ。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやフォークを持って、援助されながら自分で食べようとする。 ○様々な食品や調理形態に慣れ、少しずつ食べてみる。 ○排泄したことをしぐさや言葉で知らせたり、便器で排泄したりする。 ○自分の気持ちを受けとめてもらい、保育者のそばで安心して眠ろうとする。 ○ズボンや靴などを自分で着脱しようとする。 ○援助されながら手洗いをし、自分のタオルで拭く。 ○保育者と一緒に片付けをしようとする。 ○走る、くぐる、よじ登る、降りる、跳ぶ、ぶら下がるなど、保育者と一緒に全身を使った遊びを楽しむ。 ○つまむ、めくる、ちぎる、ひっぱる、押すなど、指先を使った遊びを繰り返し楽しむ。
	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者と一緒に友達や異年齢児と関わって遊ぶ。 ○保育者と一緒に見立て遊びやつもり遊びを楽しむ。 ○大人や友達のやっていることを真似て遊ぶ。 ○自分の物と人の物の違いに気付くようになり、自分の物の置き場所などが分かる。 ○保育者の声かけで危ないことや、やってはいけないことに気付き、やめようとする。
生きる力の基礎	人との関わり
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○園庭や散歩先で身近な植物や小動物を見たり、触れたりして興味をもつ。 ○やわらかい粘土や、砂を使った遊びでいろいろな感触を楽しむ。 ○玩具やいろいろな道具を使って、見立て遊びやつもり遊びを楽しむ。 ○自分の気持ちや欲求を表情やしぐさ、簡単な言葉で伝えようとする。 ○簡単な繰り返しの言葉のある絵本や紙芝居を楽しむ。 ○クレヨンでなぐり描きやくぐる描きなどを楽しむ。 ○保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして楽しむ。

		4期（1月～3月）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことをしようとする。 ○様々な遊びの中で、保育者や友達との関わりを楽しむ。 ○身の回りの様々なことに興味や関心を示し、探索活動を十分に楽しむ。 	
		経験させたい内容
生活する力	<ul style="list-style-type: none"> ○スプーン、フォークを持って、自分で食べようとする。 ○保育者や友達と一緒に同じ場所で、楽しく食べる。 ○排泄したことをしぐさや言葉で伝えようとしたり、誘われてトイレに行こうとする。 ○自分の気持ちを受けとめてもらい、保育者のそばで安心して眠ろうとする。 ○保育者に手伝ってもらいながら、簡単な衣服の着脱を自分でしようとする。 ○保育者に言葉をかけられて、自分で手洗いをしようとする。 ○またいたり、くぐったり、低い段から跳び降りたり、追いかっこをするなど、全身を使った遊びを楽しむ。 ○散歩や固定遊具での遊びなど、戸外で体を動かして遊ぶ。 ○つまむ、めくるなど細かい指先を使った遊びを楽しむ。 	
生きる力の基礎	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな友達ができ、そばに近寄ったり一緒にいたりする。 ○保育者の仲立ちで、友達と同じ遊びをしたり、一緒に遊んだりして関わりを楽しむ。 ○友達や保育者の名前を呼び、親しみをもって関わろうとする。 ○保育者に促されて、生活の中の簡単なルールや、危ないことやしてはいけないことに気付く。 ○自分と友達の持ち物の区別ができるようになり、自分の物の置き場所などが分かる。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な小動物や植物、風や氷の冷たさなどに触れ、周囲の自然物やその変化に関心をもつ。 ○保育者との関わりの中で、言われたことが分かり、行動しようとする。 ○大人のすることを真似たり、自分の好きな役になったりすることを楽しむ。 ○生活や遊びの中で、保育者と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ○絵本や紙芝居を読んでもらい、繰り返しの言葉を真似して楽しむ。 ○保育者や友達と一緒に、歌を歌ったり、簡単な手遊びをする。 ○保育者や友達と一緒に、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。 	

2歳児の発達をめやす

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動機能や、指先の機能が発達する。それに伴い、食事、衣類の着脱など身の回りのことを自分でしようとする。 ○排泄の自立のための身体的機能が整ってくる。 ○発声が明瞭になり、語彙も著しく増加し、自分の意思や欲求を言葉で表出できるようになる。行動範囲が広がり、探索活動が盛んになる中、自我の育ちの表れとして、強く自己主張する姿が見られる。 ○盛んに模倣し、物事との共通性を見出すことができるようになるとともに、象徴機能の発達により、大人と一緒に簡単なごっこ遊びを楽しむようになる。 	
	前期	後期
育てたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい生活や環境に慣れ、安心して過ごす。 ○好きな固定遊具や、運動遊具の使い方を知り、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○スプーンやフォークを使って食べ、友達と一緒に食事することを楽しむ。 ○保育者に見守られ、トイレでの排泄に慣れる。 ○新しい場所での午睡に慣れ、十分に眠る。 ○身の回りのことを保育者に援助されながら徐々に自分でやろうとする。 ○保育者や友達との関わりの中で、自分の気持ちを安心して表し、好きなことを見つけて遊ぶ。 ○自分の思いを言葉で伝えようとする。 ○身近な小動物や植物を見たり、触れたりして興味を持つ。 ○好きな歌や知っている歌を聴いたり、歌ったりする。 ○砂、水、粘土やその他の自然物を使って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○走る、跳ぶ、登るなど様々な動きのある体を使った遊びを楽しむ。 ○スプーンやフォークを正しく持とうとし、食器に手を添えこぼさずに食べようとする。 ○排泄を事前に言葉や動作で知らせ、見守られながらする。 ○援助されながら、一人で衣服の着脱をしようとする。 ○促されて食前や排泄後の手洗いをする。 ○簡単な約束事を守って友達と遊ぶ。 ○保育者や友達と簡単なごっこ遊びや言葉のやり取りを楽しむ。 ○絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりし、繰り返しの言葉の模倣を楽しむ。 ○指先を使った遊びをじっくりと楽しむ。 ○歌に合わせて手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の気持ちをしっかり受け止め、信頼関係を築いていく。 ○食事、排泄、睡眠などが安心してできるよう、ゆったりとした生活リズムと雰囲気作りを心がける。 ○自分でしようとする気持ちを大切にし、ゆったりと関わる。 ○清潔で心地良い環境を整えていく。 ○怪我、事故の予防のために、子どもの目線で動線を考えて遊具などの点検や配置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でしようとする意欲を受け止め、満足感や自信を持たせるようにする。 ○友達同士でイメージを共有して遊べるように、保育者が一緒に遊んだり、相手の気持ちにも気が付けるように見守っていく。 ○ごっこ遊びが盛んになる時期のため、遊びが発展するような環境を整えていく。 ○全身を使った遊びができるよう、安全な環境を整える。 ○身の回りのことを自分でできるようになった喜びに共感し、進級への期待につなげる。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境に慣れていく様子を、送迎時や連絡帳などを活用して伝え合う。 ○困っていること、不安なことなどをいつでも一緒に考えていけるよう信頼関係を築き、対話を大切にしていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の具体的な姿から一人一人の子どもの成長を伝え、喜び合い、子どもも保護者も進級への期待や安心感を持てるようにする。 ○集団としての子どもたちの成長や子ども同士の関わり方など、3歳児での成長につながっていく事を伝える。 ○進級に伴い、園と家庭の連絡方法や持ち物などが変わる場合にはあらかじめ説明をし、保護者も安心して移行できるようにする。 	

2歳児 1期 (4月～5月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい生活や環境に慣れ、安心して過ごす。 ○保育者に見守られながら、自分の好きな遊びを楽しむ。 ○周りの物を見たり触れたりして興味や関心をもつ。
生活する力の基礎	<p style="text-align: center;">経験させたい内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやフォークを使って、自分で食べようとする。 ○同じテーブルの友達と一緒に食べることを喜ぶ。 ○保育者に手伝ってもらいながら、排泄、着脱などをしようとする。 ○保育者に見守られながら寝ようとする。 ○体操、巧技台などでの全身を使った遊びを楽しむ。 ○近隣への散歩や戸外遊びを喜び、体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○粘土、のり、クレヨン、ボタン、パズル、手遊びなど、指先を使った遊びを楽しむ。
	<p style="text-align: center;">人との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育者のそばで安心して過ごす。 ○新しい生活の場や人に慣れ、好きな玩具や遊具で遊ぶ。 ○友達のしている遊びを真似て、同じことをしようとする。 ○一人遊びを楽しみながら、保育者の仲立ちで、近くにいる友達に関心をもつ。 ○保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ○自分のロッカーや靴箱、自分の物の置き場所が分かる。
	<p style="text-align: center;">学びの芽生え</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な虫や生き物、草花に興味をもって、見たり触れたり集めたりなどする。 ○水、砂など様々な素材に触れる。 ○積木を並べたり、積んだりすることを楽しむ。 ○遊びの中で色や形、大きさなどに気付く。 ○生活の中で簡単な挨拶や返事をしたり、生活に必要な簡単な言葉を使ったりする。 ○保育者や友達の名前を覚えて呼ぶ。 ○保育者に好きな絵本を繰り返し読んでもらうことを喜ぶ。 ○音楽に合わせて体を動かして遊ぶ。 ○いろいろな素材を食べ物などに見立てて遊んだり、人形やままごと道具を使ったごっこ遊びを楽しむ。

		2期（6月～8月）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者の援助を受けながら、簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。 ○友達に関心をもち、同じ場で過ごしたり、真似をしたりすることを喜ぶ。 ○砂、水（プール、水遊び）、泥などの感触を全身で味わいながら、十分に遊ぶ。 	
		経験させたい内容
生活する力	<ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやフォークを使って食べ、友達と一緒に食事することを楽しむ。 ○保育者の誘いで、トイレで排泄しようとする。 ○保育者のそばで安心して眠る。 ○できないところは保育者に援助されながら、自分で衣服や靴の着脱をしようとする。 ○歩く、走る、登る、降りるなどの運動や、段差のある場所での遊びを通して、十分に体を動かすことを楽しむ。 	
生きる力の基礎	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者を仲立ちとして友達と関わって遊ぶ。 ○友達のしていることに関心をもち、同じ場で遊んだり真似をしたりすることを喜ぶ。 ○保育者や友達との関わりの中で、自分のしたいことや、してほしいことを言葉やしぐさで伝える。 ○「自分で」と自己主張し、何でも自分でしようとする。 ○遊んだ後に、保育者と一緒に遊具を片付けようとする。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な虫や生き物、草花に興味をもち、見たり触れたりする。 ○水、砂、土、泥などに触れ、心地良さや楽しさを感じる。 ○うれしかったことや困ったことなどを話そうとする。 ○身の回りのことに興味を持ち、「なぜ?」「どうして?」と盛んに質問をする。 ○絵本や紙芝居の中の簡単な言葉を繰り返すことを喜ぶ。 ○粘土を使い、ちぎる、伸ばす、丸めるなどを楽しむ。 ○クレヨンや絵の具で自由に描いたり遊んだりすることを楽しむ。 ○保育者と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ○身近な物を見立てたり、好きなものになって遊ぶことを楽しむ。 	

3期（9月～10月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○戸外で体を十分に動かして遊んだり散歩に行ったりする中で、伸び伸びと遊ぶことを楽しむ。 ○保育者や友達との関わりの中で、自分の思いや要求を伝えようとする。 ○身近な大人の言葉や行動を真似して、簡単な見立て遊びを楽しむ。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○こぼしたり、汚したりしないで食べられることを喜ぶ。 ○尿意、便意を知らせ、自分からトイレに行こうとする。 ○保育者のそばで安心して眠る。 ○保育者に見守られながら、自分で衣服や靴の着脱をしようとする。 ○手洗いや「ブクブクうがい」を保育者と一緒にする。 ○保育者に促されながら、自分の物の簡単な支度や片付けをする。 ○いろいろな遊具や用具に触れながら、戸外で十分に体を動かすことを楽しむ。 ○遊びを楽しむ中で、走る、両足ジャンプをするなど、様々に体を動かす。
	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者が仲立ちとなり、2～3人の友達と一緒に遊ぶ。 ○経験したことの中で同じようなイメージを持って、見立てて遊ぶことやごっこ遊びを保育者と一緒に楽しむ。 ○友達との玩具の取り合いや気持ちのぶつかり合いの中で、保育者を仲立ちとして、相手の思いを知る。 ○簡単な手伝いを喜んでする。 ○保育者の援助で「順番」や「交代」などのルールがあることに気付く。 ○遊びや生活の中で保育者の言葉かけによって危ないことに気付く。
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○はさみなど身近な用具の名前や使い方に興味をもち、保育者と一緒に使ってみる。 ○様々な容器や袋、布、ひも、箱などを使い、一人でじっくりと繰り返し遊ぶ。 ○楽しかった経験を自分なりの言葉で伝えようとする。 ○気の合う友達との言葉のやりとりを楽しむ。 ○好きな絵本や紙芝居を何度も見たり読んでもらったりする中で、興味をもった言葉や動作を真似て遊ぶことを楽しむ。 ○保育者と一緒に好きな歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりして遊ぶ。
学びの芽生え	

4期 (11月～12月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ○保育者や友達と言葉のやり取りを楽しんだり、自分の思いを自分なりの言葉で表そうとしたりする。 ○戸外遊びや散歩を通して、身近な自然に親しんだり、全身を使った遊びを楽しむ。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な食べ物を少しずつ食べてみようとする。 ○スプーンやフォークを使い、こぼさないように食べようとする。 ○尿意、便意を感じて、自分からトイレに行き排泄しようとする。 ○トイレットペーパーの使い方など、排泄後の始末の仕方を知る。 ○保育者のそばで安心して眠る。 ○保育者と一緒に脱いだ服をたたんだり、片付けようとする。 ○保育者と一緒に食前や排泄後の手洗いをする。 ○手や口など体が汚れたことに気付き、自分できれいにしようとする。 ○保育者の援助を受けながら、「ブクブクうがい」や「ガラガラうがい」を場面に応じて行う。 ○登る、押す、引っ張るなど、全身を使う運動遊びをする。 ○ボールを蹴る、投げる、転がす、受けるなどして遊ぶ。
	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と簡単なごっこ遊びを楽しむ。 ○自分の要求を自分なりに相手に伝えようとする。 ○鬼ごっこやかくれんぼなどで友達と同じ役になって遊ぶことを喜ぶ。 ○良いことや悪いことの区別が少しずつ分かるようになる。 ○「入れて」「貸して」など、遊びや生活に必要な言葉を知り、伝えようとする。 ○保育者の援助を受けながら、遊びの中で順番や交代をしようとする。 ○保育者と一緒に簡単なルールのあるゲームや遊びを楽しむ。
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの音、色、匂い、量などに気付き、興味をもつ。 ○木の葉や木の実を喜んで集めるなど、自然物を使った遊びを楽しむ。 ○保育者や友達に自分のしたことや思ったことを自分なりに伝えることを喜ぶ。 ○保育者や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ○繰り返しのあるやり取りや面白い表現のある絵本や紙芝居をみることを喜び、自分で言ったり好きな場面を再現したりすることを楽しむ。 ○音楽に合わせてリズムカルに体を動かすことを喜ぶ。 ○カスタネット、鈴、タンバリンなど簡単な楽器に触れ、鳴らして遊ぶ。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの音、色、匂い、量などに気付き、興味をもつ。 ○木の葉や木の実を喜んで集めるなど、自然物を使った遊びを楽しむ。 ○保育者や友達に自分のしたことや思ったことを自分なりに伝えることを喜ぶ。 ○保育者や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ○繰り返しのあるやり取りや面白い表現のある絵本や紙芝居をみることを喜び、自分で言ったり好きな場面を再現したりすることを楽しむ。 ○音楽に合わせてリズムカルに体を動かすことを喜ぶ。 ○カスタネット、鈴、タンバリンなど簡単な楽器に触れ、鳴らして遊ぶ。

5期（1月～3月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者に見守られながら、自分で簡単な身の回りのことをし、進級を楽しみにする。 ○保育者や気の合う友達と関わることを喜び、ごっこ遊びを楽しむ。 ○興味のあることや経験したことなどを、保育者と一緒に自分なりに好きなように表現する。
生きる力の基礎	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な食べ物を進んで食べようとする。 ○スプーンやフォークを正しく持とうとし、食器に手を添えこぼさずに食べようとする。 ○尿意、便意を感じて自分からトイレに行き、排泄後の始末を自分でしようとする。 ○保育者のそばで安心して眠る。 ○自分で衣服を着脱し、たたむなどの始末をしようとする。 ○食前、排泄後の手洗いを自分でしようとする。 ○外から帰ったときや食後は、手洗いやうがいをする。 ○促されて顔や手、鼻水を拭くなど身の回りのことを自分でしようとする。 ○冬の自然に触れながら、散歩に出かけたり、戸外で体を十分に動かして遊ぶ。
	<ul style="list-style-type: none"> ○気の合う友達2～3人で、見立て遊びや簡単なごっこ遊びを楽しむ。 ○保育者や友達と、鬼ごっこや簡単なルールのあるゲームで遊ぶことを楽しむ。 ○友達に話しかけたり、自分の知っていることを言葉で伝えたりして関わることを喜ぶ。 ○できるようになったことや大きくなったことを認められ、進級することを楽しみに待つ。 ○玩具や遊具を順番に使ったり分け合ったりするなど、貸し借りをしながら使おうとする。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○雪、氷、霜柱など冬の自然に接し、見たり触れたりして遊ぶ。 ○少しずつ身の回りの色や形の変化、大小、長短、数などに気付く。 ○幼児クラスの子どもがやっていることに興味を示し、真似てやろうとする。 ○思ったことや感じたことを自分なりの言葉で伝えたり、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しんだりする。 ○生活に必要な簡単な言葉が分かり、使おうとする。 ○繰り返しの言葉や、様々なやり取りが出てくるお話の面白さを感じ、喜んで聞く。 ○指先を使い、合わせ折りや、好きな折り方をして楽しむ。 ○保育者と一緒に、のり、はさみ、絵の具、粘土などの材料や用具を使い、じっくりと楽しむ。 ○クラスの友達と一緒に、話を聞いたり手遊びや体操をしたりすることを楽しむ。

「はいはい」はどうして大切なんですか？

「はいはい」は体の隅々を使う全身運動であり、全身の筋肉やバランス感覚が鍛えられます。また、「はいはい」することで赤ちゃんの行動範囲はぐっと広がることになります。「はいはい」によって、触りたい、動きたいという要求を自ら叶えることができ、たくさんの刺激を受けることができるようになります。これは、赤ちゃんの精神的な発達に非常に役立つとされています。たくさん「はいはい」ができるように環境を整えましょう。

どういう時にかみつikyひっかきが起こるのですか？

子どもは1歳半を過ぎた頃から明確な自我が出てくると言われています。しかし、言葉では十分に自分の思いを表現することができない時期でもあるため、自分の思いが通らないこともあります。そのような時、自己主張の手段として起こるのがかみつikyひっかきです。お子さんの気持ちを読み取り、代弁することを心がけましょう。



探索活動ってどういうことですか？

子どもが安心、安全感を感じた生活の中で知らない物事に興味を示し、それがどのような物か確かめようとする活動のことです。つかまり立ちや一人歩きを始める時期から周囲に対して強い好奇心を抱くようになります。一見するといたずらのようにも見えますが、成長に欠かせない大切な活動です。危険がないように安全な環境を整え、好奇心を育てていきましょう。

区立の幼稚園や保育園では幼児にどんな力を育てていますか？

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な物です。そこで下記のような力を育てていきます。

- ・健康な心と体を育てます。
- ・人と関わる力や思いやる心を育てます。
- ・興味をもって取り組む力、頑張る力を育てます。
- ・聞く力、話す力を育てます。
- ・伸び伸びと表現する力を育てます。



なぜ遊びを大切にしているのですか？

遊びは、幼児が自らの興味や関心をもって取り組む自発的・主体的な活動です。その中で好奇心・探究心が育まれ、友達と協力する大切さなどを学び、集中して取り組む力が育ちます。幼児期に夢中になって遊んだ体験が小学校以降の「学習の基盤」となります。

小学校就学に向け、どのような教育をしていますか？

幼児期に大切な学びのスタイルは特定の活動を取り出して教えることより、興味・関心に沿って幼児自身が学びとることが重要と考えます。様々な活動の中には小学校の学習につながる内容は十分含まれています。「知りたい」気持ちを育み、小学校への憧れをもつよう連携を進めています。

3歳児の発達をめやす

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活（食事、排泄、衣服の着脱など）がほぼ自分でできるようになる。 ○自分を中心に考える時期でもある。 ○話し言葉が豊かになり、会話を楽しむようになる。 ○自分の思いを主張しながらも友達と同じ場所で遊んだり、簡単な集団での遊びを楽しんだりするようになる。 ○基本的な運動機能が発達する。 	
前期		
育てたい姿	<p>《新入児》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園の中で安心して過ごす。 ○やりたい遊びや好きな場を見つけて遊ぶ。 <p style="text-align: center;">○保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身の回りのことを自分でやってみようとし、できた時は喜ぶ。 ○保育者に受け止めてもらう安心感をもつ。 ○友達と同じ場で過ごしたり、触れ合ったりすることを楽しむ。 ○安全な遊び方やみんなで気持ち良く過ごすための約束を知り、守ろうとする。 ○身近な春の自然に目を向け、見たり触れたりして遊ぶ。 ○保育者や友達と挨拶する気持ち良さを感じる。 ○したいこと、してほしいことを保育者や友達に言葉で伝える。 <p style="text-align: center;">○絵本や紙芝居を繰り返し見たり、聞いたりすることを楽しむ。</p> <p style="text-align: center;">○動物や乗り物など身近な物になって表現したり、手遊びやリズム遊びを楽しんだりする。</p>	<p>《進級児》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しい保育室や保育者に親しみを持ち、安心して過ごす。 <ul style="list-style-type: none"> ○自分から遊びを見つけて遊ぶ。 ○保育者や友達と一緒に遊んだり、活動したりすることを喜ぶ。 ○遊具や用具の貸し借りや交代、順番を待つ経験を通して楽しく遊べる。 ○身近な草花や小動物など自然物に興味をもって関わり、触れたり集めたり並べたりする。 ○身近な人と挨拶する楽しさを感じ、自分から挨拶しようとする。 ○身近な物事に関心を持ち、触れて遊ぶ。 ○遊びや生活の中で必要な言葉に気付き、使う。 ○自分の思ったことや感じたことを言葉や行動などで自分なりに表現しようとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○怪我・事故の予防の為に、子どもの目線で、動線を考えて遊具などの点検や配置を行う。 ○新しい環境に慣れていけるよう、家庭と連携をとり、個人差に配慮した援助を行う。 ○一人一人の気持ちをしっかりと受け止めていく。 ○生活の流れが視覚的に分かるよう具体的に知らせ、安心して過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の前―後、表―裏、上―下が分かり着脱する、たたむ、揃えるなど、時間はかかるができることが増えるので、急がせず、余裕をもって見守りながら、できないところを援助していく。 ○家庭では体験できない遊びを充分に楽しめるように、季節に応じた環境をつくる。 ○自分でやろうとする気持ちを大切に、意欲的に遊ぼうとする姿を引き出していく。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○進級時の高揚・不安など、様々な気持ちを受け止めながら、新しい環境の中で安心して自己表出ができるよう、家庭との連絡を密にしていく。 ○保護者一人一人に話しかけ、コミュニケーションを大切にして信頼関係を築いていく。 ○保護者の不安や心配ごとを受け止め、早急に対処し、解決できるように努める。 	

3歳児の発達のめやす

後 期	
育てたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○生活や遊びの中で、みんなが楽しく安全に過ごすための決まりを知り、守ろうとする。 ○身の回りの清潔や衣服の着脱、食事、排泄など、生活に必要なことを自分で行い、できるようになったうれしさを感じる。 ○身近な遊具や用具などを使い、様々な運動遊びを楽しむ。 ○保育者や友達と使う物を一緒に運んだり、片付けをしたりする。 ○親しみをもって保育者の話を聞いたり、困ったことや、してほしいことを言葉で伝えたりする。 ○身近な様々な人と触れ合うことを喜ぶ。 ○身近な物に触れ、見立てたり偶然できた物で遊んだりすることで、物の感触や形、使い方などに興味をもつ。 ○生活や遊びの中で数や量などの違いに気付き、興味をもつ。 ○身近な素材や用具を使って、伸び伸びと描いたり作ったりして楽しむ。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣が確立できるよう、個々に応じて丁寧に援助を行う。 ○身の回りのことができるようになるが、確認や声かけをし、きちんと行えるよう援助する。 ○身の回りのことが手順良くできているか、段取り良くできているかを確認し、子どもに考えさせたり気付かせたりしていく。 ○気温の変化に合わせて衣服の調節をしたり、生活の中で見通しをもってトイレに行ったりなど、自分で考えて行動できるように気付かせていく。 ○集団の物と自分の物を区別し、みんなで使う物を大切にしたり、決まった場所に片付けたり、使いやすく整理したりできるよう、育てていく。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症の流行期でもあり、体調面には十分気を付け、無理をしないで早めの休養を心掛けるように働きかける。 ○園でできている生活習慣を家庭に伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、園と家庭で協力し合っていく。 ○家庭でも、家族の一員として家事の一つを分担させるなど（靴をそろえる、食器を並べるなど）、自分自身が家族のために役立っているということを実感できるような生活の仕方を提案していく。 ○集団生活の中で幼児が経験していることや学んでいること、育ってきたこと、また家庭の中で変わってきたことなどを伝え合い、子どもの成長を共に喜び合っていく。

3歳児 1期 (4月～5月中旬)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りのことや自分でできそうなことを保育者と一緒に行いながら、園生活の仕方を知る。 ○清潔で安全な環境の中で、安心して過ごす。 ○新しい環境に慣れ、気に入った遊具や場で遊ぶことを楽しむ。 	
生活する力	新入児に経験させたい内容 <ul style="list-style-type: none"> ○園での生活の仕方や一日の生活の流れが分かる。 ○みんなと一緒に食事をするを楽しむ。 ○所持品の始末や身支度を保育者と一緒に行ったり、保育者の声かけでトイレに行ったりする。 ○園での手洗い、うがいの仕方、トイレの使い方が分かる。 ○園での食事の準備や片付けの仕方を知り、自分でやってみようとする。 ○園で午睡時(一定の時間)安心して眠る。 ○保育者と一緒に戸外で体を動かして遊ぶを楽しむ。 	進級児に経験させたい内容 <ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境での生活の仕方や流れが分かり、できる事は自分でする。 ○一日の園生活の流れが分かる。 ○保育者や友達と楽しく食事をする。 ○幼児用トイレの使い方が分かる。 ○自分で手洗い、うがいをする。 ○食事に伴う習慣(フォーク、箸の持ち方、食前後の手洗い、うがい)を意識して行おうとする。 ○午睡の時間には安心して眠る。 ○保育者と一緒に追いかっこや固定遊具で、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
	○災害時などの行動の仕方を知る。	
	人との関わり <ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と同じ場で遊ぶ。 ○みんなと一緒に絵本を見たり、誕生会などの集会に参加したりする。 ○保育者との触れ合いを通して、安心して遊んだり、生活したりする。 ○保育者に甘えたり、泣きたい時は泣いたりする。 ○みんなで気持ち良く過ごすために、必要な約束があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と関わりながら、気に入った場所や遊具で遊ぶ。 ○誕生会やこどもの日の集いなどに参加する。 ○安心できる環境の中で、生活したり、遊んだりする。 ○みんなで過ごすために知っている必要な約束を守ろうとする。
学びの芽生え <ul style="list-style-type: none"> ○気に入った場所や遊具を見つけて遊ぶ。 ○身近な春の自然に目を向けたり触れたりし、楽しさを感じる。 ○保育者や知っている友達と挨拶をする。 ○遊びに必要な言葉があることを知り、保育者と一緒に言ってみようとする。 ○保育者が行う手遊びや歌、リズム遊びなどを喜び、言葉の響きやリズムを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境の中で自分の好きな遊びを楽しむ。 ○身近な春の自然に目を向け、見たり触れたりして遊ぶ。 ○遊びや生活に必要な言葉を使い、やりとりをする。 ○したいこと、してほしいことを保育者や友達に言葉で伝える。 ○みんなと一緒に歌ったり、手遊びやリズム遊びをしたりし、言葉の響きやリズムを感じる。 	
○身近なお話や絵本に親しむ。		
<ul style="list-style-type: none"> ○身近な素材や用具に触れ、自由に描いたり、作ったりして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な素材や用具を使い、自由に描いたり、作ったりして遊ぶ。 	
○日本の伝統文化・行事に親しみをもつ。		

3期（9月～10月中旬）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達のしている遊びに興味をもち、自分から遊ぼうとする。 ○友達と一緒に遊ぶ中で、約束や決まりがあることを知る。 ○身の回りの環境や様々な活動に興味、関心をもち、関わって遊ぼうとする。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の物、他の人の物、みんなの物の違いが分かる。 ○手洗い、うがい、衣服の着脱、排泄などの手順が分かり、自分でしようとする。 ○楽しく食事をする。 ○午睡の時間には安心して眠る。 ○保育者や友達と一緒に戸外で体を動かす楽しさや気持ち良さを味わう。 ○体を動かすことに興味をもち、走る、跳ぶ、支える、くぐるなど、いろいろな動きを楽しむ。 ○順番に並ぶ、みんなで使う用具は交代して使うなど、遊び方の約束が分かる。 ○保育者と一緒に自分の遊んだ遊具や用具を片付けようとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを自分なりの方法で相手に伝えようとしたり、相手の思いを感じたりする。 ○保育者などや友達と共に過ごすことの喜びを味わう。 ○友達や異年齢児の遊びに関心をもち、仲間に入ったり、一緒に遊ぶ。 ○園の行事に参加してみようとする。 ○自分のしたいことをしながら安心して遊んだり、一緒にいたい友達に自分から関わったりする。 ○簡単なルールが分かり、みんなで一緒に遊ぶ。
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○興味をもった遊びを繰り返し楽しむ。 ○秋の虫や木の実など自然物に興味、関心をもち触ったり集めたりして遊ぶ。 ○自分の思ったことや感じたことを言葉にし、保育者や友達と言葉を通して気持ちがつながるうれしさを味わう。 ○新しい素材に興味をもち、自由に描いたり、作ったりして遊ぶ。 ○季節の歌を歌ったり、リズムのある言葉を言ったりして楽しむ。 ○絵本や紙芝居を見て物語に親しみ、イメージをふくらませる。 ○保育者や友達と一緒に音楽に合わせて体を動かしたり、動きを真似たりして楽しむ。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○興味をもった遊びを繰り返し楽しむ。 ○秋の虫や木の実など自然物に興味、関心をもち触ったり集めたりして遊ぶ。 ○自分の思ったことや感じたことを言葉にし、保育者や友達と言葉を通して気持ちがつながるうれしさを味わう。 ○新しい素材に興味をもち、自由に描いたり、作ったりして遊ぶ。 ○季節の歌を歌ったり、リズムのある言葉を言ったりして楽しむ。 ○絵本や紙芝居を見て物語に親しみ、イメージをふくらませる。 ○保育者や友達と一緒に音楽に合わせて体を動かしたり、動きを真似たりして楽しむ。

4期 (10月中旬～12月下旬)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○園生活に必要なことを感じ取り、自分にできることを自分で行う。 ○みんなと一緒に活動する中で、保育者や周りの友達の動きを見ながら、自分なりに動く楽しさを感じる。 ○自分の好きな遊びをしたり、面白そうなことをしている友達と関わったりしながら、興味・関心を広げて遊びを楽しむ。
生きる力の基礎	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○手洗い、うがいの大切さを知り、自分でしようとする。 ○楽しく食事をする。 ○箸を使って食事をしようとする。 ○一定時間の睡眠をとる大切さが分かる。 ○用具や遊具の安全な使い方を知り、気を付けて使おうとする。 ○走る、踊る、鬼ごっこをするなど、みんなと一緒に体を動かすことを楽しむ。 ○自分の気に入った遊具や用具を使って運動遊びを楽しむ。
	<ul style="list-style-type: none"> ○気の合った友達と同じことがしたくなる気持ちを高める。 ○自分のしたい遊びを見つけて繰り返し行う。 ○保育者や友達と同じ遊びを楽しんで行う。 ○友達と一緒に片付けたり、自分でできる事や手伝いをしたりする。 ○自分の気持ちや困っていることなどを自分なりの言葉で伝えようとする。 ○行事を通して異年齢の友達と触れ合い、楽しさを感じたり、年中児・年長児に対するあこがれの気持ちをもったりする。 ○保育者や友達と一緒に簡単なルールのある遊びをする。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな遊びに集中して取り組み、試したり工夫したりして遊ぶ。 ○新しい環境に興味をもち、自分から関わろうとする。 ○秋の自然物に触れて遊び、色、形、多い、少ないなどの違いに気付く。 ○遊びの中で友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ○好きな絵本や紙芝居を何度も読んでもらったり、見たりして楽しむ。 ○楽器を自由に鳴らしたり、音色を聞いたり、声をそろえて歌ったりする楽しさを感じる。 ○様々な素材を使い、感じたことを自分なりに表現しようとする。

5期（1月～3月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで気持ち良く過ごすために園生活に必要なことが分かり、自分から行おうとする。 ○自分の思いを出して、好きな遊びを十分に楽しむ。 ○保育者やクラスの友達と一緒に動く楽しさを感じ、リズム遊びや表現遊びを楽しむ。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○冬の生活の仕方を知り、自分からやってみようとする。 ○楽しく食事をする。 ○身の回りの物の整理や遊びの片付けなど、自分のことを自分でしようとする。 ○進級を楽しみにし、自分でできることを増やしていく。 ○一定時間の睡眠を取る。 ○寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 ○簡単な集団遊びのルールが分かり、みんなと一緒に体を動かすことを楽しむ。 ○遊具や用具を安全に使用しようとする。
	人との関わり
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○相手の動きや保育者の話などから、相手にも思いがあることに気付く。 ○保育者や友達のしている遊びに興味をもち、関わって遊ぶ。 ○友達と声や動きを合わせてみる。 ○年中児・年長児の姿にあこがれの気持ちをもち、真似ようとしたり、一緒に遊ぼうとする。 ○友達と同じ場で遊ぶ中で、思っていることやしたいことなどを言葉や動きで表す。 ○保育者に励まされながら様々なことに取り組む。 ○みんなで気持ち良く、安全に過ごすための簡単な決まりが分かり、守ろうとする。 ○遊具や用具を安全に使用しようとする。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びを通して興味・関心を広げ、楽しかったことを取り入れて遊ぶ。 ○冬から春の自然に触れ、冷たさや寒さ、暖かさ、春の訪れを体で感じる。 ○思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。 ○保育者や友達と簡単なクイズや反対言葉などを楽しみ、言葉を使う楽しさを味わう。 ○絵本やお話のイメージをもち、なりたいものになって自分なりの表現を楽しむ。 ○みんなと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 ○リズム遊びや表現遊びに喜んで参加し、自分なりに表現しようとする。 ○自然物も含め様々な素材に触れ、試したり見立てたりして楽しむ。

4歳児の発達をめやす

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣が自分でできるようになる。 ○周囲の環境に強い関心を持ち、身近な自然物、物事、事象と触れ合う中で、友達と一緒に発見したり、工夫しながら遊びを広げる。 ○友達と関わり、遊ぶことの楽しさが分かり、相手の思いや自分の感情に気付いていく。 ○言葉による表現が進み、友達に自分のイメージを伝え、一緒に遊びを楽しんでいく。 ○決まりや危険なことが分かり、約束を守って行動していく。 ○運動のバランスやコントロールが取れるようになり、ボール投げなど2つの動きをつなげて行う協応動作も上手に行えるようになる。 	
	前期	後期
育てたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者の援助を受けながら基本的な生活習慣が身に付いていく。 ○友達や保育者と一緒に体を動かすことを楽しいと感じる。 ○自分の思ったことを言葉で伝える。 ○新しい環境に慣れようとし、好きな遊びを見付け、友達と一緒に過ごし、楽しいと感じる。 ○生活に必要な決まりがあることを知り、安心して園生活を送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単なルールのある遊びを友達や保育者とできるようになり、遊具、用具などを使って様々な動きのある遊びを楽しむ。 ○自分なりのイメージを持ち、友達や保育者と一緒に動きや言葉などで表現して遊ぶ。 ○生活や遊びなどの場面を通して、相手にも思いがあることを知ったりして良いこと悪いことが分かり、状況を感じて自分なりに行動しようとする。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの目線に立って遊具などを点検する事で怪我・事故の予防をする。 ○それぞれの子どものペースを大切に、新しい環境に慣れていくようにする。その際、安心して過ごせるような物的、人的環境の設定をしていく。 ○子ども同士のつながりを大切に、お互いの思いが伝わるように、言葉を補い、友達の思いを丁寧に伝えていく。 ○いろいろな素材や用具を準備し、使い方や遊び方を知らせていくとともに、楽しさを味わえるような環境設定をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びの中で「こうしたい」という子どもの思いを受け止め、イメージや目的に合うような素材や材料を一緒に見付けたり、提示したりするなど保育者が積極的に支え、自分たちで遊ぶ楽しさを十分に味わえるようにする。 ○子ども同士で思いがぶつかる時は、保育者が双方の思いをくみとりながら、相手の思いに気付けるように仲介していく。また、その後の手立てを一緒に考え、心を落ち着かせたり、気持ちを切り替えさせたりして遊べるようにする。 ○年長児の生活の仕方を聞き、当番活動などの引き継ぎをする機会を設け、年長児になることへの期待を持たせていく。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○園での子どもの様子を丁寧に伝え、信頼関係作りをしていく。 ○一年間の保育方針や活動内容、予想される子どもの姿を具体的に知らせ、園生活での見通しをもてるように努める工夫をしていく。 ○大人が先に指示をしたりせず、子どもが自分で行おうとしている気持を尊重し、温かく見守っていくことで自信や意欲につながっていくことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症の流行期でもあり、体調面には十分気を付け、無理をしないで早めの休養を心掛けるように働きかける。 ○運動会や保育参観など保護者の参加、協力の機会が増えるので、共に子育てをする喜びや保護者同士のつながりを感じられるような内容、方法を工夫する。 ○基本的な生活習慣の完成に向けて、個別に状況を確認し合い、進級に向けて園と家庭で同じタイミングで見直していく。

4歳児 1期 (4月～5月中旬)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境での生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でする。 ○保育者や新しい友達に親しみをもつ。 ○新しい環境に慣れ、自分なりに遊んだり過ごしたりする。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○新しいクラスや園での生活の仕方、場の使い方を知り、自分なりに動こうとする。 ○一日の生活の流れ（遊び、片付ける、食事、集まりなど）が分かる。 ○園生活の中で危険なことや場所や物、してはいけないことが分かり、安全に気を付けて行動する。 ○できることは自分なりにやってみようとする。 ○友達や保育者と一緒に食事をする。 ○午睡の時間、一定時間安心して眠る。 ○友達や保育者の動きを真似、今まで経験してきた遊びも含めて、体を動かすことを楽しいと感じる。 ○災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付ける。
	<ul style="list-style-type: none"> ○気の合う友達と同じ遊びをする。 ○友達の動きに関心をもつ。 ○自分なりに興味をもった遊びに取り組む。 ○保育者に親しみを感じ、友達と一緒に過ごすことを喜ぶ。 ○感じたことや困ったことを表情や態度、言葉で表現したり、保育者に伝えたりする。 ○園生活には必要な決まりがあることを知る。
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい場や遊具に親しみ、好きな遊びを見つけて安心して遊ぶ。 ○身近な自然物に関わり、春の自然に親しみをもつ。 ○保育者や友達に挨拶をする。 ○保育者にクラスの友達と一緒に絵本を読んでもらうことで絵本に親しみをもつ。 ○自分の思いや感じたことを態度や言葉で表現する。 ○保育者の言葉や動き、表情から、意味を感じ取って動こうとする。 ○友達の動きを真似たり、ごっこ遊びを楽しむ。 ○保育室にある用具や材料を使って遊ぶ。 ○日本の伝統文化・行事に興味・関心をもち、遊びに取り入れる。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい場や遊具に親しみ、好きな遊びを見つけて安心して遊ぶ。 ○身近な自然物に関わり、春の自然に親しみをもつ。 ○保育者や友達に挨拶をする。 ○保育者にクラスの友達と一緒に絵本を読んでもらうことで絵本に親しみをもつ。 ○自分の思いや感じたことを態度や言葉で表現する。 ○保育者の言葉や動き、表情から、意味を感じ取って動こうとする。 ○友達の動きを真似たり、ごっこ遊びを楽しむ。 ○保育室にある用具や材料を使って遊ぶ。 ○日本の伝統文化・行事に興味・関心をもち、遊びに取り入れる。

2期（5月中旬～8月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の仕方に慣れ、保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○友達に親しみを感じたり、動きを真似たりして、一緒に過ごす。 ○様々な素材に触れ、興味をもったり、遊びに取り入れたりする。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○園生活に必要なことの手順を知り、片付けや身の回りの始末など、自分なりにやってみようとする。 ○手洗い、うがいなど、生活に必要なことを自分でしようとする。 ○汗をかいたり、濡れたりしたら、自分で着替えようとする。 ○できることは自分でやろうとする。 ○友達や保育者と一緒に食事をする楽しさを感じる。 ○午睡の時間、安心して眠る。 ○戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。 ○遊びながら用具や遊具の安全な使い方が分かり、やってみようとする。 ○遊びや生活の中で交代や順番があることが分かる。 ○砂遊び、水遊び、プール遊びを通して水に触れることの楽しさを知り、開放感や気持ち良さを感じる。
	人との関わり
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の言葉や動きに気付く。 ○みんなで取り組む遊びや活動に喜んで参加し、友達に親しみをもつ。 ○受け入れてくれる友達に自分の思いや感じたことを伝えようとする。 ○友達と同じ物を身に付けたり、一緒に動いたりする。 ○思い通りにはならないこともあることを知り、保育者に受け止めてもらうことで、気持ちを切り替える。 ○安全に過ごすための約束や決まりがあることを知り、守ろうとする。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○遊具や用具の置き場所や使い方を知り、自由に使う。 ○砂や泥、水など自然物の感触を味わう。 ○身近な生き物や、栽培している植物などの生長に興味を示す。 ○自分の思いや感じたこと、困ったことなどを保育者や友達に伝えようとする。 ○保育者や友達の言葉を聞き、受け止めようとする。 ○気に入った絵本を繰り返し見る。 ○身近な素材を使い、作って遊んだりする。

3期（9月～10月中旬）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に気を付け、思いきり体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○友達と関わりながら、自分の思いや動きを出して遊ぼうとする。 ○身近な環境に自分から関わり、興味や関心を広げていく。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要なことが分かり、自分からやってみようとする。 ○自分の身の回りの始末や、使った物の片付けをしようとする。 ○楽しく食事をする。 ○午睡の時間、安心して眠る。 ○いろいろな体の動きを試しながら、十分に体を動かして遊ぶ。 ○用具や遊具の使い方に慣れ、組み合わせて場を作り遊ぶ。 ○友達と一緒に走ったり、音楽に合わせて踊ったりするなど、体を動かして遊ぶ。
	人との関わり
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○気の合う友達との遊びの中で、思いや考えを出して関わる。 ○気の合う友達の言葉や動きを受けてイメージを膨らませたり、遊びに取り入れたりする。 ○高齢者・他の保護者・地域・商店街の方など、様々な活動を通していろいろな人と関わる。 ○遊びの中で、思うようにならない経験を通して、相手にも思いのあることに気付く。 ○集団の中で、伸び伸びと自分を出して遊ぶ。 ○年長児にあこがれの気持ちをもち、同じようにやってみようとする。 ○生活上の約束やルールを守ることで、みんなが気持ち良く過ごせることを感じる。 ○安全に過ごすための決まりが分かり、守ろうとする。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返し遊ぶ中で、自分なりに試したり、工夫したりする。 ○草花など身近な自然に触れ、夏から秋への季節の移り変わりを感じる。 ○遊びの中で、力や速さを比べたり、数を数えたりする。 ○保育者や友達に親しみを感じ、思いやイメージを言葉で伝える。 ○保育者に絵本を読んでもらうことを楽しんだり、自分で見たりする。 ○自然物も含めたいろいろな素材に触れ、伸び伸びと表現する。 ○友達と一緒に感じたことを表現して遊ぶ。 ○作った物を使って遊ぶ。 ○音楽を聞いて体を動かしたり、イメージをもって自分なりに表現したりして遊ぶ。

4期（10月中旬～12月下旬）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かして簡単なルールのある遊びを友達と一緒に繰り返し楽しむ。 ○友達とやりとりしながら一緒に遊ぶ楽しさを知る。 ○見たことや、感じたことを様々な方法で表現して遊ぶことを楽しむ。
生活する力の基礎	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの物の始末や片付けの仕方が分かり、進んでしようとする。 ○手洗い、うがいの大切さが分かり、自分で進んで行く。 ○必要に応じた衣服の調節を自分で行う。 ○楽しく食事をする。 ○落ち着いた環境の中で、一定時間、休息を取る。 ○簡単な当番活動（昼食時の当番など）に興味をもち、取り組もうとする。 ○友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しみ、思い切り体を動かす。
	<p style="text-align: center;">人との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達の動きに関心をもち、その動きに合わせてたり、応じたりして動く。 ○簡単なストーリーや遊びの流れの中で、友達と関わり合いながら遊びが進む面白さを感じる。 ○友達とイメージを出し合いながら遊び、つながりを感じる。 ○自分の思ったことを言葉や動きに表し、受け止めてもらえた喜びを感じる。 ○共同の遊具や用具を大切にす気持ちをもつ。 ○ルールのある遊びを通して、みんなで遊ぶ楽しさを味わう。 ○生活に必要なことや安全に過ごすための約束や決まりが分かり、守ろうとする。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びや製作に必要な遊具や用具の使い方に慣れ、いろいろな遊びをする。 ○秋の自然に触れ、見たり、触れたり、聴いたり、匂いを嗅いだりする。 ○自然物を使った遊びに興味をもち、集めたり、比べたり、見立てたりして遊ぶ。 ○保育者や友達との会話を楽しんでする。 ○絵本やお話などを喜んで見たり、聞いたりして、イメージを広げる。 ○絵本や歌の中にある面白い言葉に気付いたり、言葉遊びをしたりする。 ○みんなで歌ったり、簡単な楽器を鳴らしたりする楽しさを感じ、喜んで取り組む。 ○描いたり、作ったりする遊びに興味をもち、自分なりに表現して遊ぶ。 ○自分や友達の作品を大切に、見たり扱ったりする。

5期（1月～3月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びの決まりを守り、進級することへの期待や自信をもつ。 ○クラスの友達と一緒にいろいろな活動をする中で、つながりを感じて遊んだり、行動する。 ○自分たちで遊びに必要な場や物を作って遊ぶことを楽しむ。
生きる力の基礎	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の大まかな見通しが分かり、自分でできることは自分でしようとする。 ○自分の健康に関心をもち、手洗い、うがいを進んで行う。 ○必要に応じて自分で衣服の調整をする。 ○自分の健康に関心をもち、いろいろな食材を食べようとする。 ○食事のマナーに関心をもち、気を付けて食事をする。 ○落ち着いた環境の中で、一定時間、休息を取る。 ○行事を通して伝統的な日本の食文化を経験する。 ○寒さに負けず、戸外で全身を動かして友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○自分なりのめあてをもって運動遊び（フープ、縄跳び、固定遊具など）に取り組み、積極的に体を動かして遊ぶ。 ○卒園式・修了式に参加をして年長児の修了を祝い、進級への期待感を高め、自信をもって行動する。
	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の中で自分の思ったことや考えたことを表現し、受け止めてもらえるうれしさを感じる。 ○一緒に遊ぶ友達と場や必要な物を作り、自分たちで簡単な遊びの流れを作りながら遊ぶ。 ○クラスのみんなで活動することを楽しみ、つながりを感じたり、満足感を味わったりする。 ○年長児との交流や当番の引き継ぎなどを通して、年長になることへの期待をもつ。 ○友達の刺激を受けながら、自分なりの遊び方を工夫し、繰り返し楽しむ。 ○生活の中でして良いこと、悪いことを自分なりに考え、簡単なルールを守ろうとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びに必要な物や場を作り、友達と一緒に遊ぶ。 ○雪や氷、霜柱など冬の自然に触れ、自然の不思議さや面白さを感じる。 ○身近な自然に触れ、春の訪れを感じる。 ○いろいろな遊びの中で記号や文字、形、数字などに興味をもつ。 ○場面に合わせていろいろな言葉を使う。 ○友達と言葉で伝え合う楽しさを感じる。 ○絵本や紙芝居、お話などを喜んで聞き、ストーリーの展開を楽しみにする。 ○年長組に言葉や歌、製作などを通して、感謝の気持ちを伝えようとする。 ○劇遊びなどに必要な物を保育者や友達と一緒に作り、作った物を使って表現して遊ぶ。 ○様々な素材に親しみ、自分で材料を選び、工夫して作ろうとする。 ○いろいろな遊具を使い、イメージに合った場を自分たちで作ろうとする。

5歳児の発達のみやす

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりに判断する力が生まれ、自分と違う思いや考えを認め、社会生活に必要な力を身に付け、行動できるようになる。 ○生活や遊びに見通しをもち、友達と相談し、共通の目的や課題に向かって取り組むようになる。 ○時間を意識した生活に見通しをもち、就学に向けて期待を高めていくようになる。 ○運動機能はますます伸び、全身運動が滑らかで巧みになる。 ○細かい指先の動きが滑らかになり、用具の扱い、操作ができるようになる。 	
	前期	後期
育てたい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣が身に付く。 ○運動機能が発達し、喜んで運動遊びをしたり、仲間と共に活発に遊んだりするようになる。 ○共通のイメージをもって遊んだり、目的に向かって集団で行動したりすることができるようになる。 ○言葉で思いや考えを伝えられ、他者の異なる思いや考えも認めたりできるようになる。 ○自分なりに考えて判断する力が生まれ、トラブルを自分たちで解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全身運動が滑らかになり、全力で走り、ダイナミックな動き、細かい手先の動きなど、巧みに活動できるようになる。 ○ごっこ遊びを発展させた集団遊びが活発になり、遊びの中に役割が生まれ、役割を担うことで、協同しながら遊びを持続し、発展させていくようになる。 ○字を書いたり、読んだりすることに興味をもつようになる。 ○友達の主張に耳を傾け、共感したり、意見を言い合ったり、譲ったりしながら、仲間と協調する。 ○友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで自信をもって園生活を進めていく。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの目線に立って遊具などを点検する事で怪我・事故の予防をする。 ○進級時の高揚・不安など、様々な気持ちを受け止めながら、安心して自己表出ができるようにしていく。 ○子どもなりの発見や達成感、手ごたえを友達や保育者と共有できるように関わり、一人一人の自信や意欲につなげていく。 ○友達と思いが違った時やみんなで決めごとをする時に、気持の揺れ動きする体験を大切にしながら、乗り越えていく過程を見守り、支えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びに必要な材料や用具を、子ども達が自主的に探したり、もって来たりできる環境を整えることで、子ども自身が見通しをもって遊びを進め、思いを実現する経験を重ねられるようにする。 ○遊びや生活の中から数量や文字に対する興味・関心・感覚が養われるように意識して、日々の保育環境を整える。 ○友達との関わりを通して自分で気持ちを調整し、折り合いをつけて行けるように、解決を急がずに見守りながら関わっていく。 ○小学校との交流などを通して入学への期待を高め、一方では新しい環境への不安を受け止めて、励まし、生活や遊びに落ち着いて取り組めるようにする。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○園での子どもの様子を積極的に伝え、関係作りをしていく。 ○一年間の保育方針や活動内容、予想される子どもの姿を具体的に知らせ、見通しをもって過ごせるようにする。 ○子どもと一緒に遊ぶ事で、自分の子どもが今どんな動きができて、何ができないかを知り、関わり方や生活習慣の見直しにつなげていく。 ○運動会などの取り組みの経過を伝え、子どもなりのがんばりや気持ちの揺れなどを、保護者と共有し、認め支えて行くように働きかけ、子ども一人一人の自信につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症の流行期でもあり、体調面には十分に気を付け、無理をしないで早めの休養を心掛けるように働きかける。 ○わが子と友達とを比較せず、一人一人の育ちや年齢の育ちについても啓発し、子どもが自信をもって生活していくことの大切さを伝えていく。 ○発表会や卒園式の事前の姿を伝えたり、懇談会で保護者同士が語り合う場所を設けたりしながら、共に成長が喜び合えるようにする。 ○生活面でも入学への準備を親子で進められるように、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活リズムを整えることや、通学路の交通ルールと一緒に確認することなど、具体的な取組を家庭にも勧め、伝えていく。

5歳児 1期 (4月～5月中旬)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、自分のできることは自分でしようとする。 ○身近な人と親しみ、関わりを深め、年長になった喜びや自覚をもって活動する。 ○新しい環境に関わり、自分なりに目的をもって遊びを楽しむ。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい場での生活の仕方や片付け方を知ったり、一日の生活の流れが分かって行動したりする。 ○身の回りの物の始末や片付けの必要性が分かり、見通しをもって進んで行く。 ○うがい、手洗いなどの病気の予防に必要な活動を理解し、必要に応じて自分から行う。 ○保育者や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。 ○一定時間、体を休める。 ○危険な物や場所、遊び方が分かり、状況を判断して安全に気を付けて遊ぶ。 ○新しい遊具に関わりながら使い方を知り、安全にしようとする。 ○進んで戸外に出て友達と体を動かして遊ぶ心地良さを感じる。 ○年下の子の気持ちを考えながら世話をしようとする。 ○園内外での安全な遊び方や過ごし方が分かり、守ろうとする。 ○当番の仕方や係の仕事が分かり、先生や友達と一緒に行動する。 ○災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。
	生きる力の関わり
基礎	学びの芽生え
	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境に関わり、目的をもって遊ぶ。 ○新しい場や遊具・用具の使い方を知る。 ○散歩や園外保育に出かけ、身近な事象に興味をもったり、地域の人に親しみをもったりする。 ○身近な春の自然に触れ、美しさや面白さ、不思議さを感じたり、遊びに取り入れたりする。 ○保育者の言葉を良く聞き、自分で考えて動こうとする。 ○友達の言うことを聞いて受け入れ、自分の思いを相手に分かるように伝えようとする。 ○進んで保育者や友達に挨拶をしたり、みんなの前で自分のことを話そうとしたりする。 ○聞いていて心地良い言葉やうれしい言葉があることに気づき、自分も使おうとする。 ○友達と思いや考えを出し合って遊ぶ。 ○様々な素材や遊具を使い、自分なりに描いたり、作ったりすることを楽しむ。 ○日常生活の中で日本や地域社会における様々な文化や伝統に親しみ、興味・関心を広げる。

2期（5月中旬～8月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の流れに見通しをもって自分たちで遊びや生活を進めていこうとする。 ○友達と工夫したり、協力したりして、一緒に活動する楽しさを味わう。 ○興味・関心をもったことに自分なりに取り組み、考えたり、試したりする。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○一日の生活の流れを感じ、自分なりに見通しをもって進めていこうとする。 ○食育を通し、食物の大切さを知り、嫌いな物も食べようとする。 ○一定時間、体を休める。 ○大型遊具の出し入れ（片付けを含む）を自分たちで行う。 ○雨の日の気候に応じた交通安全や生活の仕方が分かる。 ○プール遊びの手順や約束を思い出し、安全な遊び方をする。 ○一学期が終わることが分かり、自分たちの使った遊具や生活の場を整え、気持ち良く二学期を迎える準備をする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と遊びを進めていく中で、イメージが共通になっていく楽しさを感じる。 ○相手に話を聞いてもらい、思いが受け止められたうれしさを感じる。 ○自分とは違う友達の思いや考えを受け入れようとする。 ○分からないことを自分から聞き、解決を図ろうとする。 ○友達と活動する中で相手の特徴や良さに気づき、認めようとする。 ○一人ではできないことでも友達と一緒に取り組もうとする。 ○高齢者や地域の方など、自分の生活に関係の深い様々な人に親しみを感じる。 ○生活に必要なことを友達と一緒に進め、自分の役割を果たす。 ○遊びや生活の約束を理解し、守ろうとする。
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちのやりたい遊びを見付け、目的をもって遊ぶ。 ○様々な遊具や用具を使って遊ぶ。 ○春から夏の自然に興味をもち、良く見たり、触れたり、試したりして遊ぶ。 ○身近に起こる様々な事象に関心をもち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする。 ○友達の言葉に耳を傾け、相手の思いや考えを受け止める。 ○いろいろな人に自分から挨拶をしようとする。 ○自分の思いや考えを言葉で友達に伝え、一緒に遊びを進めていこうとする。 ○自分なりのイメージや目的をもち、集中して遊ぶ。 ○上手いかわないことがあってもあきらめずに取り組もうとする。 ○みんなで歌ったり、踊ったり、表現したりすることを楽しみ、互いの表現を認め合う。 ○様々な素材や用具を使い、表現の仕方を工夫する楽しさを味わう。 ○友達と共通の目的をもち、考えを出し合ったり、力を合わせたりして一緒に作る。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちのやりたい遊びを見付け、目的をもって遊ぶ。 ○様々な遊具や用具を使って遊ぶ。 ○春から夏の自然に興味をもち、良く見たり、触れたり、試したりして遊ぶ。 ○身近に起こる様々な事象に関心をもち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする。 ○友達の言葉に耳を傾け、相手の思いや考えを受け止める。 ○いろいろな人に自分から挨拶をしようとする。 ○自分の思いや考えを言葉で友達に伝え、一緒に遊びを進めていこうとする。 ○自分なりのイメージや目的をもち、集中して遊ぶ。 ○上手いかわないことがあってもあきらめずに取り組もうとする。 ○みんなで歌ったり、踊ったり、表現したりすることを楽しみ、互いの表現を認め合う。 ○様々な素材や用具を使い、表現の仕方を工夫する楽しさを味わう。 ○友達と共通の目的をもち、考えを出し合ったり、力を合わせたりして一緒に作る。

3期（9月～10月中旬）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の流れが分かり、必要なことに自分たちで気づき、園生活を進めていこうとする。 ○グループやクラスの活動を通して自分の力を発揮し、仲間としての意識や気持ちの高まりを感じる。 ○友達と思ったこと、考えたことを出し合いながら、共通の目的をもって遊びを進めていく。
生きる力の基礎	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○一日の生活に見通しをもち、必要なことに気づき、進んで取り組もうとする。 ○生活の中で必要な仕事の内容が分かり、友達と声を掛け合って進めていこうとする。 ○健康な生活、食事の大切さを知り、自分の体への関心をもつ。 ○一定時間、体を休める。 ○様々な運動遊びに進んで取り組み、体を十分に動かして遊ぶ心地良さを味わう。 ○ルールのある遊びを通して、チームで競い合うことを繰り返し楽しむ。 ○自分なりの目的をもち、繰り返し取り組もうとする。 ○グループの友達で誘い合い、分担しながら当番活動を進めていこうとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と相談しながら自分たちで、遊びを進めていく。 ○友達との考えの違いやうまくいかない経験を通じて、友達と折り合いを付けていく。 ○クラスの友達と取り組む中で、気持ちや動きを合わせていく心地良さを味わい、つながりを深めていく。 ○異年齢交流を通し、相手の話を相手の立場に立って聞こうとする。 ○自分なりの目的をもって繰り返し挑戦したり、様々な人に認められたりすることを通して自信をもつ。 ○小学生との交流を通して小学校生活に期待や関心をもつ。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒に考えやイメージを出し合い、目的を共通にしていく。 ○秋の自然に興味をもって関わり、自然の中にある、音、形、色などに気づき、よく見たり、比べたり試したりする。 ○物の性質やしぐみについて考えたり、気付いたりし、遊びに生かしていく。 ○絵本や物語に親しみ、イメージを豊かにしたり言葉を豊かにしたりする。 ○クラスや学年の目的や課題を自分のこととして受け止め、考えを出し合って取り組んでいく。 ○友達と共通の目的をもち、話し合いながら遊びを進めていく。 ○目的に向かって見通しをもって取り組む中で、自分の力を発揮していく。 ○負けてもあきらめずにがんばろうとする。 ○様々な音楽に親しみ、友達と一緒に歌ったり、楽器の音色の美しさやリズムの楽しさを味わったりする。

4期（10月中旬～12月下旬）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の流れに見通しをもち、時間を意識して行動する。 ○自分の力を発揮し、友達と力を合わせてやり遂げる満足感を味わう。 ○友達と思ったこと、考えたことを出し合いながら、共通の目的をもって遊びを進めていく。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○一日の生活に見通しをもち、時間を意識して行動したり、自分でできることを進んでしたり、友達と声を掛け合って行動したりする。 ○食物の必要性を理解して、いろいろな食材を食べてみる。 ○一定時間、体を休める。 ○遊びのルールを確かめたり、工夫したりして、友達と一緒に集団遊びを楽しむ。 ○新しいことに挑戦する意欲をもち、繰り返し取り組もうとする。 ○当番活動に自分から進んで取り組み、友達と協力して進めていく。 ○二学期が終わることを知り、使った物をきれいにしながら新年を迎える気持ちをもてるようにする。
	生きる力の基礎
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と考えを出し合って遊び方を工夫することで、遊びがより楽しくなることを味わう。 ○友達の得意な面や良さを認めながら、一緒に遊ぶ。 ○友達と一緒に活動する中で共通の目的を見出し、協力しながら問題や課題をやり遂げようとする気持ちをもつ。 ○クラスの友達とつながりを深め、グループで競い合ったり、協力したりする。 ○小学生との交流を通して、小学校生活に期待や関心をもつ。 ○必要に応じて友達と相談しながら、ルールを考えていろいろな遊びに取り組む。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しかった経験を遊びに生かし、友達と一緒に目的やイメージをもって遊ぶ。 ○友達と一緒に遊ぶ中で相手の考えを受け入れたり認めたりしていく。 ○秋から冬の自然の変化に気付き、美しさや不思議さを感じたり、遊びに生かしたりする。 ○身近な社会の事象に関心をもち、遊びに取り入れていく。 ○遊びの中で数を数えたり、文字に触れたりすることを通して、数量や形、文字に興味をもち、遊びに使う。 ○園内外のいろいろな人に親しみをもち、話している人に気持ちを向けて話を聞く。 ○様々な体験を通してイメージを豊かにし、言葉や音や体で表現することを楽しむ。 ○絵本や物語に親しみ、イメージをふくらませたり、自分たちでなりきって表現したりして遊ぶ。 ○友達と声をそろえて歌ったり、気持ちを合わせて楽器を演奏したりする。

5期（1月～3月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中で充実感をもって行動する。 ○友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで自信をもって園生活を進めていく。 ○繰り返し挑戦して取り組む中で、目的や課題を達成し、意欲をもつ。
生活する力	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○一日の生活や就学までの見通しが分かり、自信をもって取り組むことができるようにする。 ○時間を意識しながら生活に見通しをもち、今、何をすべきか、自分なりに判断し、状況に応じた行動をしようとする。 ○身の回りの整理や片付けの必要性が分かり、協力して進んで行く。 ○自分の決めた目標に向かって繰り返し挑戦する。 ○就学を意識して朝、帰りの集まり時に集中して話を聞くようにする。 ○卒園・修了に向けた活動の中で、園生活が終わることを感じたり、小学校生活への意識を高めたり、期待をもったりする。 ○安全な遊び方や場所が分かり、自分で判断して安全に行動しようとする。 ○見通しをもって園生活を進める。
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の感じたことや考えたことを友達に分かるように伝え、友達の話も聞いて受け止めていく。 ○友達の心情に気付き、お互いを生かし合って遊ぼうとする。 ○クラスとしてのつながり、充実感、達成感を味わう。 ○小学生との交流を通して、小学校生活に期待や関心をもつ。 ○繰り返し挑戦し、達成したり、様々な人に認められたりすることを通じて自信をもつ。 ○園生活を振り返り、自分に多くの人が関わってくれたことを知り、感謝の気持ちをもつ。 ○年下の子どもへの関わり方を自分なりに考えたり、自分の知っている事を教えたりする。
生きる力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○クラスや個々の課題に向かって自分の力を発揮し、これまでの経験を生かして取り組む。 ○友達と協力し、役割を分担して取り組み、互いの良さや成長を認め合う。 ○自分たちで見通しをもって遊びや生活を進め、やり遂げる満足感を味わう。 ○冬から春の自然の変化に気付き、不思議さや面白さを感じたり、興味をもって調べたり、予想したり、試したりする。 ○日常生活に必要な数量、形、文字、標識などに興味・関心をもち、遊びや生活の中で使っていく。 ○遊びや生活の中で、相手に分かるように、話し方や言葉を考え、伝えようとする。 ○困ったことがあれば自分で尋ねたり、集中して人の話を聞こうとしたりする。 ○素話や継続性のある物語を楽しみにし、喜んで聞く。 ○言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れ、友達と一緒にこれらを使う楽しさを味わう。 ○クラスや学年の友達全員で気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ○様々な素材に親しみ、用具を使って、自分のイメージを工夫して表現する。 ○日本の良さを感じるとともに、他国への親しみももつ。
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○クラスや個々の課題に向かって自分の力を発揮し、これまでの経験を生かして取り組む。 ○友達と協力し、役割を分担して取り組み、互いの良さや成長を認め合う。 ○自分たちで見通しをもって遊びや生活を進め、やり遂げる満足感を味わう。 ○冬から春の自然の変化に気付き、不思議さや面白さを感じたり、興味をもって調べたり、予想したり、試したりする。 ○日常生活に必要な数量、形、文字、標識などに興味・関心をもち、遊びや生活の中で使っていく。 ○遊びや生活の中で、相手に分かるように、話し方や言葉を考え、伝えようとする。 ○困ったことがあれば自分で尋ねたり、集中して人の話を聞こうとしたりする。 ○素話や継続性のある物語を楽しみにし、喜んで聞く。 ○言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れ、友達と一緒にこれらを使う楽しさを味わう。 ○クラスや学年の友達全員で気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ○様々な素材に親しみ、用具を使って、自分のイメージを工夫して表現する。 ○日本の良さを感じるとともに、他国への親しみももつ。

文京区版幼児教育・保育カリキュラム策定委員会 名簿

平成27年4月1日現在

役職	氏名	所属等
学識経験者	師岡 章	白梅学園大学教授
学識経験者	高 櫻 綾 子	日本女子大学講師
幼稚園長	高 圓 元 美	小日向台町幼稚園
幼稚園長	田 村 秀 子	千駄木幼稚園
幼稚園長	御手洗 竹 代	柳町幼稚園
保育園長	鈴 木 八重子	千石保育園
保育園長	瀧 澤 真 美	本駒込保育園
保育園長	飛田野 美 幸	柳町保育園
事務局	植 村 洋 司	教育指導課長
事務局	前 田 元 松 下 由紀子	教育指導課統括指導主事 教育指導課指導主事
事務局	新 名 幸 男	保育課長
事務局	小 菅 葉 子	保育課保育係長

第1回策定委員会

平成27年6月10日（水）午後4時から6時 於シビックセンター 16階職員研修室

第2回策定委員会

平成27年8月24日（月）午後4時から6時 於シビックセンター5階会議室B

第3回策定委員会

平成27年10月30日（金）午後4時から6時 於シビックセンター5階会議室D

*参考・引用文献

厚生労働省 「保育所保育指針解説書」 フレーベル館. 2008

文部科学省 「幼稚園教育要領解説書」 フレーベル館. 2008

東京都教育委員会「就学前教育カリキュラム」東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課. 2013

師岡 章 「保育カリキュラム総論」 同文書院. 2015

文京区版幼児教育・保育カリキュラム拡充委員会 名簿

平成29年5月1日現在

役職	氏名	所属等
学識経験者	師岡 章	白梅学園大学教授
学識経験者	高 櫻 綾 子	日本女子大学講師
認定こども園長	宮 里 暁 美	お茶の水女子大学こども園
幼稚園長	御手洗 竹代	明化幼稚園
幼稚園長	鳥 塚 恵 子	柳町幼稚園
保育園長	村 井 宗 子	駒込保育園
保育園長	瀧 澤 真 美	大塚保育園
保育園長	古 矢 美由起	さしがや保育園
保育園長	森 本 由美子	しおみ保育園
事務局	植 村 洋 司	教育指導課長
事務局	木 村 順 子	教育指導課指導主事
事務局	大 川 秀 樹	幼児保育課長
事務局	宮 原 佐千子	子ども施設担当課長
事務局	日比谷 光輝	幼児保育課幼児保育係長

第1回拡充委員会

平成29年5月12日（金）午後2時から4時 於区民センター 3D 会議室

第2回拡充委員会

平成29年7月21日（金）午後2時から4時 於シビックセンター 12 階地域振興会議室

第3回拡充委員会

平成29年10月27日（金）午後2時から4時 於区民センター 2B 会議室

*参考・引用文献

内閣府・厚生労働省・文部科学省 「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針
幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

東京都教育委員会「就学前教育カリキュラム」東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課. 2013
師岡 章 「保育カリキュラム総論」 同文書院. 2015

文京区版 幼児教育・保育カリキュラム ～改定版～

発 行 平成30年2月
文京区子ども家庭部幼児保育課
教育推進部教育指導課
〒112-8555 文京区春日一丁目16番21号
03-5803-1189 (幼児保育課ダイヤルイン)
印刷物番号 D0117067